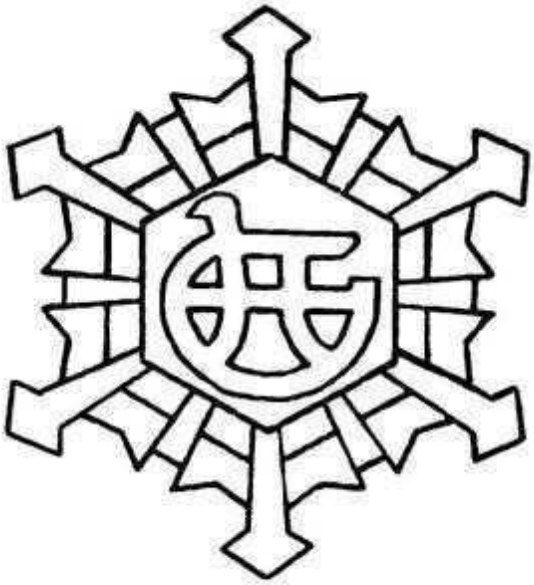
消　防　年　報

令和6年版



鳥取県西部広域行政管理組合

消　防　局

（令和7年刊行）

はじめに

この消防年報は、鳥取県西部広域行政圏の消防現勢並びに、令和6年における消防行政の執行状況を広く一般に紹介し、今後の消防行政の運営に資するため編集したものです。なお、予算については会計年度を用い、その他の表についてはそれぞれに記載する年月日で表したものです。また、本文中の各割合（％）については、端数処理のため合計が100％にならない場合があります。

令和7年7月

鳥取県西部広域行政管理組合消防局

目　　次

鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況 ---------- 1
組合管内全図 ---------- 2
管内常備消防の沿革 ---------- 3
歴代の管理者・議長 ---------- 16
歴代の消防長 ---------- 17
鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図 ---------- 18
消防機関の出動状況等 ---------- 19
相互応援協定 ---------- 20
事務分掌 ---------- 21

消防職員
(1)職員配置状況 ---------- 24
(2)職員在職年数 ---------- 26
(3)職員年齢構成 ---------- 27
(4)職員研修 ---------- 28
(5)職員採用試験 ---------- 30

消防予算の状況
(1)令和7年度当初予算額の対前年度比較 ---------- 31
(2)令和7年度当初予算額の財源内訳 ---------- 32
(3)令和6年度決算額 ---------- 32

消防施設等の状況
(1)消防庁舎及び無線中断所の位置・構造 ---------- 33
(2)消防吏員待機宿舎概要 ---------- 33
(3)消防車両等配置数 ---------- 34
(4)消防車両概況 ---------- 35
(5)救急・救助
(5－1)救急隊配置場所 ---------- 37
(5－2)高規格救急車積載一覧 ---------- 38
(5－3)救助隊配置場所 ---------- 39
(5－4)高度救助用資機材一覧 ---------- 39
(5－5)救助工作車(Ⅲ型)積載一覧 ---------- 40
(6)通信施設 ---------- 41

予防
(1)防火対象物の現況 ---------- 43
(2)各種届出事務処理の状況 ---------- 44
(3)防火対象物の用途別査察状況 ---------- 44
(4)建築同意の用途別事務処理状況 ---------- 45
(5)危険物製造所等の地区別施設件数 ---------- 46
(6)危険物製造所等の事務処理件数 ---------- 46
(7)危険物施設査察状況 ---------- 47
(8)火薬類取締法関係 ---------- 47
(9)液化石油ガス法関係 ---------- 47

災害概況

Ⅰ火災概況
1 火災件数と死傷者数 ---- 48
2 出火状況 ---- 49
3 市町村別火災状況 ---- 50
4 出火原因 ---- 51

Ⅱ救急概況
1 救急出動件数、救急搬送状況 ---- 52
2 市町村別救急活動状況 ---- 53
3 傷病程度別搬送状況 ---- 54
4 年齢別搬送状況 ---- 54
5 署所別救急活動状況 ---- 55
6 月別救急活動状況 ---- 55
7 現場到着所要時間、収容所要時間 ---- 56
8 市町村別救急活動の推移 ---- 57

Ⅲ救助概況
1 事故種別救助出動状況 ---- 58
2 事故種別救助活動状況 ---- 58
3 事故種別救助人員状況 ---- 59
4 管轄別救助活動状況 ---- 59
5 市町村別救助活動状況 ---- 60
6 月別救助活動状況 ---- 60

Ⅳ119番通報着信概況
1 119番通報着信件数の内訳 ---- 61
2 月別119番通報着信状況 ---- 61
3 電話種別による119番通報の着信状況 ---- 62
4 携帯電話からの119番通報の着信状況 ---- 63
5 時間帯別119番通報の着信状況 ---- 63

消防団・水利
消防団の人員と装備 ---- 64
水利状況 ---- 65

関 係 団 体
〔米子地区防火安全協会〕 ---- 66
〔境港市消防保安協会〕 ---- 69

鳥取県西部広域行政管理組合管内の概況

位置と地勢

当組合は、鳥取県の西部に位置し、中海を抱く米子市・境港市を中心として西伯郡・日野郡の2市2郡（9市町村）で構成されている。

米子市は、この地域における行政・交通・教育・文化など多面的な中枢機能をもつ山陰有数の商業都市であり、それと隣接する境港市は、日本海に面する重要港湾境港により海外貿易の門戸として、また沖合漁業の基地として知られ、弓浜半島の先端部に位置している。

米子市の南部、法勝寺川の流域平野部に南部町（西伯郡）があり、西域は島根県境と接しており、また名峰「大山」を臨む東部日本海沿岸部には日吉津村・大山町（西伯郡）があり、平坦部には肥沃な農地が拓け、沿岸漁業も盛んである。

一級河川日野川の流域、遠く岡山・広島県境に至る中国山地に日南・日野・江府の各町（日野郡）が位置し、日野路への進入路には米子市と隣接して伯耆町（西伯郡）がある。

令和7年4月1日現在

構成市町村	人口(人)	世帯数(世帯)	面積(㎢)
米子市	143,175	63,385	132
境港市	31,248	13,261	29
日吉津村	3,565	1,311	4
大山町	14,076	5,090	190
南部町	9,743	3,545	114
伯耆町	9,998	3,680	139
日南町	3,618	1,613	341
日野町	2,518	1,113	134
江府町	2,350	924	125
合　計	220,291	93,922	1,208

（鳥取県市町村別推計人口による）

組合管内全図

境港消防署
弓浜出張所
消 防 局
皆生出張所
米子消防署
大山消防署
中山出張所
南部出張所
伯耆出張所
江府消防署
生山出張所
境港市
米子市
安来市
東出雲町
南部町
伯耆町
大山町
江府町
日野町
日南町
新庄村
日吉津村
美保湾
美保関
地蔵崎
境港
枕木山
大根島
中海
米子空港
境線
米子西ＩＣ
安来ＩＣ
東出雲ＩＣ
山陰道（安来道路）
米子自動車道
江府
米子
大山ＲＡ
溝口
淀江
大山口
名和
中山口
赤碕
琴浦町
船上山
大山
1729
桝水高原
大山滝
安来
鷺の湯温泉
飯梨川
伯太川
日野川
米子平野
岸本
伯耆大山
江尾
三平山
1010
三平山トンネル
毛無山
1218
宝仏山
1002
根雨
五輪峠
菅沢ダム
明地トンネル
明地峠
四十曲トンネル
四十曲峠
生山
石霞渓
花見山
1188
大倉山
1112
船通山
1142
出雲横田
木次線
谷田峠
揖屋
安来
消防局
消防署
出張所

管内常備消防の沿革

1 米子市の消防

明治 26 年 3 月	米子町消防条例を制定し、定員21名、消防ポンプ2台（機種不明）をもって消防組を編成
昭和 2 年 4 月	市制実施
昭和 6 年 4 月	消防ポンプ自動車1台購入配置、森田式タービンポンプ4気筒A型フォード製
昭和 9 年	米子市公設消防組設置、消防ポンプ自動車1台、消防夫20名の常備制をとり、詰所を市役所内に配置
昭和 14 年 4 月	警防団令の施行によって、米子市警防団を結成し、消防組は警防団の消防部として配置
昭和 18 年 4 月	消防部の詰所を富士見町2丁目126番地に移転
昭和 22 年 4 月	消防団令が公布されて、警防団は解散し、新しく米子市消防団が結成されたが、消防部は市の常備消防部として配置
昭和 23 年 9 月	消防組織法の施行により米子市消防本部及び米子市消防署が設置され、消防職員24名、消防ポンプ自動車3台で業務開始、初代吉村泰之消防長就任（収入役兼務）
昭和 24 年 7 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 24 年 9 月	小型消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 25 年 10 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 26 年 4 月	消防職員43名となる。（内2人は本庁兼務）
昭和 28 年 4 月	消防職員46名となる。（　〃　）
昭和 30 年 11 月	消防庁舎を増改築した。木造瓦葺2階建延面積464．477㎡、消防職員定数54名
昭和 30 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置
昭和 31 年 5 月	第2代船越照郷消防長就任
昭和 31 年 7 月	消防本部係制実施（庶務、予防第一、予防第二、消防、機械の5係）
昭和 32 年 11 月	消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和 33 年 4 月	指揮車（ジープ型）1台購入配置
昭和 34 年 4 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け配置（損保号）
昭和 37 年 11 月	消防ポンプ自動車1台を購入配置（2号車）
昭和 38 年 7 月	第3代戸田勇消防長就任
昭和 40 年 4 月	第4代吉村純一郎消防長就任
昭和 40 年 9 月	第5代松田宏消防長就任
昭和 40 年 9 月	広報車1台購入配置（日本消防協会配車）
昭和 41 年 9 月	消防ポンプ自動車1台購入配置（1号車）
昭和 42 年 6 月	消防本部に課制実施（警防課、総務課）
昭和 42 年 7 月	消防職員定員65名
昭和 42 年 12 月	救急自動車1台、化学車1台購入配置
昭和 42 年 12 月	富士見地区区画整理事業実施により富士見町1丁目103番地1に新庁舎を新築移転（鉄筋コンクリート造3階建延総面積13,207㎡）

昭和43年 2 月　救急業務開始
昭和43年 3 月　水そう付消防ポンプ自動車1台購入配置(速消車)
昭和43年11月　消防ポンプ自動車1台購入配置(6号車)
昭和44年 3 月　屈折梯子付消防ポンプ自動車購入配置(スノーケル車)
昭和44年 4 月　第6代植田実消防長就任
昭和45年 3 月　消防ポンプ自動車1台購入配置(5号車)
昭和45年11月　日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受けた。(火災保険号)
昭和47年 4 月　消防職員の定数70名
昭和47年 5 月　指揮車を購入し更新配置した。(指揮1号)
昭和48年 4 月　消防職員の定数72名
昭和48年12月　救急自動車1台を購入配置(救急2号)
昭和49年 1 月　小型トラック1台を購入配置(作業車)
昭和49年 6 月　広報車1台購入配置(広報2号)
昭和50年 3 月　消防ポンプ自動車1台購入配置
昭和50年 4 月　西伯郡7町村(西伯、岸本、会見、淀江、大山、名和町及び日吉津村)から救急業務を受託して業務開始、消防職員定数77名
昭和50年 7 月　東京海上火災保険株式会社から広報車1台の寄贈を受け配置(広報1号)
昭和50年 8 月　鳥取県共済農業協同組合から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急3号)
昭和50年 9 月　日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け配置(救急1号)
昭和51年 1 月　第7代名和義則消防長就任
昭和51年 4 月　皆生1661番地に皆生出張所を開設し、分遣隊による業務開始。鉄筋コンクリート造平屋建延面積391．957㎡、消防職員定数79名

2 境港市の消防

昭和31年 5 月　境港市消防本部設置(市制施行に伴う)
西村清美団長　団員定数150名(6ヶ分団)
消防ポンプ自動車 6台
昭和31年 5 月　境港市消防団常備部開設
常備部長 西村清美団長　中嶋登美夫主任
常備部定員14名 消防ポンプ自動車A2級1台(S28．2購入)
消防専用中短波無線電話 基地局1、移動局2
庁 舎　木造瓦茸2階建(延106．38㎡)
(第1分団(境)の消防車庫を改築し、待機室、仮眠室増設)
所在地、 境港市上道町1，703番地
昭和31年10月　常備部定員18名となり、4名増員
昭和33年 9 月　全市内に上水道消火栓が敷設される。初年度92ヶ所
昭和34年 7 月　境港市消防本部・消防署設置
林 義人消防長 (署長兼務) 署員定数19名

昭和 36 年 5 月　消防庁舎新築(延353．17㎡)
所在地　境港市上道町1，600番地
昭和 36 年 11 月　消防署員10名増員　署員定数　29名
昭和 37 年 7 月　消防ポンプ自動車(A2級)1台配置(損害保険協会より寄贈を受ける)
昭和 39 年 4 月　救急業務開始。救急車(ジープ型)1台配置(日赤鳥取支部より貸与)
昭和 40 年 3 月　救急車(セドリック)更新(日赤貸与)
昭和 42 年 10 月　第2代梶野利雄消防長　(市総務課長兼務)
昭和 42 年 12 月　第3代景山善次郎消防長　(市収入役兼務)
化学消防ポンプ自動車(1型)1台配置
境港市消防保安協会より購入費一部(100万円)採納、購入額4，345千円
昭和 43 年 3 月　消防専用超短波無線電話設置(中短波を更新)5基(固定局1、基地局4)
昭和 43 年 4 月　消防署組織改編。庶務、警防、予防3係設置
昭和 43 年 9 月　第4代中嶋登美夫消防長　(専任、署長兼務)
昭和 44 年 12 月　消防ポンプ自動車(A1級)1台配置。購入額2，386千円
昭和 45 年 1 月　救急車(ニッサンB型)1台配置(消防庁より寄贈)
昭和 45 年 4 月　水そう付消防ポンプ自動車(1型、A1級)1台配置。購入額3，180千円
昭和 46 年 5 月　広報連絡車(三菱ギャラン)1台配置(日本消防協会より寄贈)
昭和 46 年 12 月　消防専用超短波無線電話(移動局)2基増設
昭和 48 年 1 月　消防ポンプ自動車(A2級)1台増配置。購入額2，705千円
昭和 48 年 3 月　消防専用超短波無線電話、周波数改正により更新(周波数152．08MC)
基地局1基、移動局2基
昭和 49 年 3 月　消防専用超短波無線電話、移動局3基更新(周波数改正)
昭和 50 年 4 月　消防本部組織改編、課制施行。消防課、庶務係、警防係、予防係、1課3係
昭和 50 年 9 月　救急車(2B型)1台増配置。(日本消防協会より寄贈)
昭和 50 年 9 月　救急車(セドリック)1台廃棄。(日赤鳥取支部より貸与分)

3　鳥取県西部広域行政管理組合の消防

昭和 51 年 5 月　“鳥取県西部広域消防発足”
鳥取県西部地域における常備消防体制の確立をはかるため、鳥取県西部広域行政管理組合(米子市、境港市、西伯町、会見町、岸本町、日吉津村、淀江町、大山町、名和町、中山町、日南町、日野町、江府町及び溝口町の2市12町村で構成)においては、昭和51年4月13日政令指定を受け、組合において消防業務を処理することになり、昭和51年5月1日組合消防本部、米子消防署、境港消防署を開庁して業務を開始し、全面業務開始の昭和51年10月1日に向け、庁舎の建設、人員、器材の整備充足を図ることになった。
発足時の消防勢力は、消防職員数112人、消防ポンプ自動車8台、水そう付ポンプ自動車3台、化学消防自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車5台、指揮車1台、査察広報車3台、作業車1台
火災出場は、米子市、境港市の区域とし、救急出場は、米子市、境港市及び西伯郡の区域とする。
初代名和義則消防長就任

昭和 51 年 6 月 2 日　住友生命相互会社から救急自動車(無線機付)1台の寄贈を受け配置
昭和 51 年 7 月 1 日　消防職員31名採用
昭和 51 年 7 月 16 日　広報車1台購入(日本消防協会配車)
昭和 51 年 8 月 1 日　松江地区消防組合及び安来市能義郡消防組合との間に中海消防相互応援協定を締結
昭和 51 年 9 月 25 日　消防ポンプ自動車2台を購入(江府、大山出張所配置)
昭和 51 年 9 月 30 日　広報車1台を購入
昭和 51 年 10 月 1 日　米子消防署大山出張所及び江府出張所を開設し、管内全域において業務運用開始
昭和 51 年 10 月 2 日　救急指令装置完成
昭和 51 年 11 月 13 日　40m級梯子付消防自動車を購入し、米子消防署に配備
昭和 51 年 11 月 15 日　日本損害保険協会から救急自動車1台の寄贈を受け、大山出張所に配置
昭和 52 年 2 月 22 日　消防ポンプ自動車4台購入(西伯、溝口、生山、中山出張所配置)
昭和 52 年 3 月 14 日　消防ポンプ自動車1台購入(弓浜出張所配置)
昭和 52 年 3 月 29 日　古峠山無線中継局が完成
昭和 52 年 4 月 1 日　消防職員定数208名
消防職員67名を採用し、彦名小学校跡において彦名消防研修所を開設して初任研修を開始
昭和 52 年 4 月 26 日　広報車1台購入(中山出張所配置)
昭和 52 年 5 月 1 日　退職職員の補充として消防職員4人採用
昭和 52 年 5 月 17 日　指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 52 年 6 月 30 日　彦名消防研修所の研修を修了し、閉所
昭和 52 年 7 月 1 日　米子消防署西伯出張所、同溝口出張所、同生山出張所、同中山出張所の庁舎が完成し、それぞれ業務を開始
境港市小篠津町668番地の仮庁舎で、境港消防署弓浜出張所を開設し、業務を開始
昭和 52 年 9 月 17 日　日本消防協会から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 10 月 4 日　鳥取県共済生活協同組合から広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 52 年 11 月 1 日　境港消防署弓浜出張所庁舎の工事が完成し、米子市大篠津町2, 913番地1の新庁舎において業務を開始し、仮庁舎を閉所
昭和 52 年 12 月 9 日　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ)7台を購入し、江府、大山、西伯、溝口、生山、中山、弓浜の各出張所に配置
昭和 53 年 2 月 6 日　株式会社菊屋から救急自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 3 月 31 日　中部広域行政管理組合との間に西部、中部地区消防相互応援協定を締結
昭和 53 年 5 月 1 日　退職職員の補充として消防職員2名採用
昭和 53 年 5 月 30 日　日本損害保険協会から水そう付消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 53 年 6 月 1 日　退職職員の補充として、消防職員1名採用
昭和 53 年 6 月 9 日　指揮広報車2台を購入し、西伯出張所及び溝口出張所に配置
昭和 53 年 11 月 27 日　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ)2台を購入し、米子消防署及び皆生出張所に配置

昭和 53 年 11 月 28 日　日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 2 月 20 日　救助工作車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 4 月 1 日　消防職員定数220名
消防職員12名採用
昭和 54 年 6 月 5 日　指令広報車1台を購入し、境港消防署弓浜出張所に配置
昭和 54 年 6 月 11 日　指揮車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 1 日　本部総務課に教養係を設け、本部予防課指導係を廃して危険物係、建築係とし、境港消防署に機械係を新設
昭和 54 年 10 月 13 日　境港美保ライオンズクラブから救急車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 54 年 10 月 17 日　水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 54 年 10 月 27 日　消防ポンプ自動車(BD－Ⅰ型)1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 54 年 11 月 1 日　山陰酸素工業株式会社から広報車1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 54 年 12 月 1 日　指令広報車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 3 月 26 日　合資会社キョートスポーツから救急車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 4 月 1 日　消防職員定数232名
消防職員14名採用
昭和 55 年 7 月 1 日　中山出張所及び生山出張所救急業務を開始
昭和 55 年 8 月 27 日　日本消防協会から救急車1台の寄贈を受け、中山出張所に配置
昭和 55 年 8 月 29 日　日本消防協会から指令広報車1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 10 月 29 日　中山地区前進基地局開局(消防無線呼出名称西部消防中山)
昭和 55 年 11 月 7 日　消防ポンプ自動車(BD－1型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 55 年 11 月 25 日　水そう付消防ポンプ自動車1台を購入し、境港消防署に配置
昭和 55 年 12 月 5 日　鳥取県消防設備保安協会より原動機付自転車2台及び和文タイプライター1台の寄贈を受け、米子消防署に配置
昭和 55 年 12 月 26 日　化学消防自動車1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 1 月 20 日　救急車(3B型)1台を購入し、米子消防署に配置
昭和 56 年 4 月 1 日　消防職員の定数242名
消防職員14名採用
昭和 56 年 7 月 24 日　空気呼吸器充填用高圧コンプレッサーを皆生出張所に配備
昭和 56 年 9 月 30 日　日本消防協会から小型工作車1台の寄贈を受け、境港消防署に配置
昭和 56 年 11 月 30 日　水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し、皆生出張所に配置
昭和 57 年 4 月 1 日　消防職員定数246名
消防職員9名採用
消防本部の機構の一部改正(1本部、4署、6出張所)
大山消防署、江府消防署開設(米子消防署大山、江府出張所をそれぞれ消防署に昇格)
第2代仲田末男消防長就任
昭和 57 年 5 月 31 日　指揮車1台更新(米子消防署)

昭和 57 年 6 月 1 日　防火基準適合表示制度(「表示マーク」交付)実施
昭和 57 年 7 月 16 日　小型動力ポンプB2級2台を購入し米子、大山消防署に配置
昭和 57 年 11 月 16 日　消防ポンプ自動車(CD－Ⅱ型)1台更新(米子消防署)
昭和 58 年 3 月 31 日　中山地区救急波前進基地局新設
昭和 58 年 4 月 1 日　鳥取県消防学校開校　教官として2名の職員を派遣
昭和 58 年 8 月 31 日　日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け境港消防署に配置
昭和 59 年 2 月 24 日　小型動力ポンプB2級2台を購入し西伯、中山出張所に配置
昭和 59 年 3 月 9 日　日本損害保険協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け大山消防署
中山出張所に配置
昭和 59 年 7 月 1 日　第3代西田英二消防長就任
昭和 59 年 7 月 20 日　消防本部庁舎に冷房設備を設置
昭和 59 年 12 月 25 日　無線施設空中線塔の改修工事
昭和 60 年 3 月 10 日　境港消防署庁舎に冷暖房設備を設置
昭和 60 年 3 月 20 日　大山消防署中山出張所移転新築落成。中山町松河原弓ノ木880
(起工　昭和59年8月7日)
昭和 60 年 8 月 15 日　境港消防署第2消防車庫新築落成
(起工　昭和60年5月20日)
昭和 60 年 8 月 21 日　日本消防協会から救急自動車(2B型)1台の寄贈を受け米子消防署に配置
昭和 61 年 5 月 22 日　指令車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 61 年 9 月 27 日　山陰酸素工業株式会社から連絡車1台の寄贈を受け、消防本部に配置
昭和 61 年 11 月 25 日　山之内製薬株式会社より救急車1台の寄贈を受け、大山消防署に配置
昭和 62 年 7 月 25 日　指揮車1台を購入し、消防本部に配置
昭和 62 年 8 月 19 日　江府消防署及び生山出張所の冷暖房設備改修工事
昭和 62 年 9 月 3 日　日本消防協会より電源照明車1台の寄贈を受け、皆生出張所に配置
昭和 63 年 3 月 23 日　日本損害保険協会より救急車1台の寄贈を受け、江府消防署に配置
昭和 63 年 4 月 1 日　退職職員の補充として、消防職員3名採用　定数246名
昭和 63 年 6 月 29 日　大山消防署の冷暖房設備の改修工事
昭和 63 年 7 月 4 日　広報車1台更新(皆生出張所)
昭和 63 年 8 月 2 日　日本消防協会から救急車(2B型)1台の寄贈を受け皆生出張所に配置
昭和 63 年 9 月 1 日　日本損害保険協会より消防ポンプ自動車(BD一Ⅰ型)1台の寄贈を受け米子
消防署に配置
昭和 63 年 11 月 15 日　消防ポンプ自動車〔(CD－Ⅰ型)電動ホースカー付〕1台を購入
平成 元 年 2 月 25 日　消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型)1台更新(境港消防署)
平成 元 年 3 月 30 日　消防本部の受水槽設備の改修及び米子消防署の車庫排気ダクト
設備の工事
平成 元 年 4 月 1 日　第4代岩佐弘志消防長就任
消防職員定数253名
消防職員11名採用
平成 元 年 5 月 22 日　広報車2台更新(江府、大山消防署配置)
平成 元 年 9 月 25 日　超短波無線電話装置の設置
平成 元 年 10 月 1 日　溝口出張所に救急隊設置
平成 元 年 10 月 25 日　溝口出張所庁舎の増築、改修工事

平成 元 年 10 月 27 日　15m級梯子付消防自動車1台を購入、皆生出張所に配置
平成 元 年 10 月 30 日　救助用資機材（ホルマトロ）一式を購入、米子消防署に配置
平成 元 年 11 月 2 日　作業車1台更新（米子消防署）
平成 元 年 12 月 25 日　溝口出張所に救急自動車（2B型4WD）1台配置
平成 2 年 4 月 1 日　消防職員定数258名
消防職員7名採用
平成 2 年 4 月 1 日　米子消防署皆生出張所に特別救助隊を設置し、業務を開始
平成 2 年 6 月 23 日　広報車3台を購入、皆生、中山、生山出張所に配置
平成 2 年 7 月 31 日　梯子車分解整備、西伯出張所ホース乾燥塔補強
平成 2 年 8 月 21 日　㈲日本消防協会から携帯無線機10台、拡声器2台を寄贈
平成 2 年 8 月 21 日　㈲日本消防協会から指令広報車1台寄贈、境港消防署に配置
平成 2 年 9 月 6 日　救急車（2B型4WD）を購入、生山出張所に配置
平成 2 年 9 月 18 日　日本防火協会から防火広報車1台寄贈、消防本部に配置
平成 2 年 11 月 21 日　生山出張所改装工事
平成 2 年 11 月 30 日　超短波無線電話装置消防波10W2台、救急波10W3台購入
平成 2 年 12 月 14 日　消防ポンプ自動車2台購入、大山、江府消防署に配置
平成 2 年 12 月 21 日　消防本部防水及び外壁改装工事
平成 3 年 1 月 21 日　危険物第4類試験装置一式購入
平成 3 年 2 月 6 日　安田生命保険相互会社から救急自動車（日産2B型）1台寄贈、境港
消防署に配置
平成 3 年 3 月 20 日　江府消防署敷地拡幅造成工事
平成 3 年 3 月 25 日　米子消防署仮眠室空調機取替修繕
平成 3 年 3 月 27 日　油圧切断機1台購入
平成 3 年 4 月 1 日　消防職員定数262名
消防職員15名採用
平成 3 年 4 月 25 日　日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車1台寄贈、境港消防署に配置
平成 3 年 7 月 12 日　査察用軽自動車2台購入
米子消防署、溝口出張所に配置
平成 3 年 8 月 20 日　西伯出張所冷暖房改修工事
平成 3 年 9 月 5 日　㈲日本消防協会から救急車1台寄贈、米子消防署に配置
平成 3 年 10 月 1 日　大山消防署敷地拡幅造成工事
平成 3 年 10 月 22 日　消防本部新庁舎建設用地取得
平成 3 年 11 月 27 日　超短波無線電話装置購入
消防波10W2台、救急波1台
平成 4 年 4 月 1 日　消防職員定数264名
消防職員4名採用
平成 4 年 1 月 10 日　消防ポンプ自動車2台購入、中山、生山出張所に配置
平成 4 年 1 月 11 日　消防本部庁舎新築工事着工
平成 4 年 3 月 2 日　空気呼吸器5基、軽量ボンベ9本購入
平成 4 年 5 月 4 日　救急救命士誕生
平成 4 年 7 月 11 日　消防本部主訓練塔新築工事着工
消防本部緊急通信指令施設設置工事着工
消防無線設備改修工事着工
（消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地）

平成 4 年 9 月 16 日　(財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防本部配置
平成 4 年 10 月 1 日　消防本部に指令課を新設
平成 4 年 12 月 21 日　高規格救急車1台購入、米子消防署配置
啓発広報車1台購入、消防本部配置
平成 5 年 1 月 22 日　米子消防署救急救命隊発足・業務開始
平成 5 年 2 月 28 日　消防本部庁舎新築工事完成
平成 5 年 3 月 20 日　消防本部主訓練塔新築工事完成
平成 5 年 3 月 26 日　消防本部緊急通信指令施設設置工事完成
消防無線設備改修工事完成
(消防本部・古峠山中継所・日南前進基地・中山前進基地)
平成 5 年 4 月 1 日　消防本部移転、名称も消防本部から消防局に改名
消防職員15名採用
平成 5 年 5 月 24 日　査察用軽自動車2台購入
中山、生山出張所に配置
平成 5 年 6 月 3 日　広報車2台更新(西伯、溝口出張所)
平成 5 年 8 月 30 日　(財)日本消防協会から防火広報車寄贈、消防局に配置
平成 5 年 10 月 1 日　西伯出張所に救急隊設置
平成 5 年 11 月 15 日　西伯出張所の増築・改修工事完成
平成 5 年 1 月 26 日　消防ポンプ自動車2台購入、皆生、西伯出張所に配置
平成 6 年 2 月 26 日　山之内製薬株式会社より救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 6 年 4 月 1 日　消防職員定員284名
消防職員11名採用
平成 6 年 5 月 10 日　査察用軽自動車2台購入(皆生出張所・西伯出張所に配置)
平成 6 年 5 月 25 日　広報車2台更新(消防局・弓浜出張所に配置)
平成 6 年 9 月 29 日　弓浜出張所庁舎の増築・改修・車庫の新築工事完成
平成 6 年 10 月 1 日　弓浜出張所に救急隊配備
平成 6 年 10 月 13 日　大山消防署救急車の更新
平成 7 年 1 月 17 日　阪神・淡路大震災、救助・救急隊災害派遣(1次～4次)
平成 7 年 2 月 10 日　溝口出張所1号車の更新
平成 7 年 3 月 27 日　(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、境港消防署に配置
(弓浜出張所1号車更新)
平成 7 年 4 月 1 日　第5代石上洋二消防局長就任
消防職員3名採用
平成 7 年 4 月 3 日　境港消防署、救急救命隊発足・業務開始
平成 7 年 12 月 23 日　境港消防署、新庁舎完成
平成 8 年 1 月 22 日　消防ポンプ自動車3台購入(米子消防署・大山消防署・江府消防署に配置)
平成 8 年 2 月 26 日　米子市から連絡車寄贈、消防局に配置
平成 8 年 3 月 26 日　消防ポンプ自動車1台購入、生山出張所に配置
平成 8 年 3 月 28 日　救助工作車(Ⅲ型)1台購入

平成 8 年 4 月 1 日　消防職員定員287名
平成 8 年 4 月 25 日　救助工作車(Ⅲ型)皆生出張所に配置
平成 8 年 5 月 1 日　西部広域消防発足20周年記念式典開催
平成 8 年 12 月 19 日　25m級梯子車1台購入、境港消防署に配置
平成 8 年 12 月 25 日　査察用軽自動車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 9 年 1 月 31 日　消防ポンプ自動車2台購入(西伯出張所・溝口出張所に配置)
平成 9 年 4 月 1 日　消防職員5名採用
平成 9 年 8 月 20 日　日本宝くじ協会から消火通報指導車寄贈、消防局に配置
平成 9 年 9 月 16 日　高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 9 年 10 月 1 日　大山消防署、救急救命隊業務開始
平成 9 年 11 月 7 日　タンク車及び消防ポンプ自動車各1台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 9 年 11 月 25 日　皆生出張所庁舎の増築・改修工事完成
平成 9 年 12 月 25 日　資機材搬送車1台購入、米子消防署に配置
平成 10 年 4 月 1 日　消防職員1名採用
平成 10 年 7 月 1 日　境港消防署に水難救助隊を設置し、業務を開始
平成 10 年 7 月 6 日　鳥取県消防防災航空隊の運用を開始した。 3名の職員を派遣
平成 10 年 11 月 30 日　江府消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 11 年 1 月 14 日　高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 11 年 1 月 25 日　消防ポンプ自動車2台購入(米子消防署・境港消防署に配置)
平成 11 年 1 月 25 日　タンク車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 2 月 1 日　江府消防署、救急救命隊業務開始
平成 11 年 3 月 10 日　現場指揮車1台購入、米子消防署に配置
平成 11 年 3 月 31 日　境海上保安部と鳥取県西部消防局との消防業務協定締結
平成 11 年 4 月 1 日　消防職員1名採用
平成 11 年 5 月 7 日　鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会設立総会開催
平成 11 年 8 月 19 日　鳥取県西部圏域危険物等事故対策協議会合同訓練会
平成 11 年 12 月 31 日　Y2K越年警戒体制
平成 12 年 1 月 24 日　消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成 12 年 1 月 24 日　タンク車1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 1 月 31 日　大山消防署庁舎の増築・改修工事完成
平成 12 年 2 月 21 日　救助工作車(Ⅱ型)1台購入、境港消防署に配置
平成 12 年 3 月 23 日　(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、米子消防署に配置米子救急救命車を更新
平成 12 年 3 月 27 日　大山消防署敷地拡幅
平成 12 年 10 月 6 日　鳥取県西部地震発生(13時30分・マグニチュード7．6)
平成 13 年 1 月 15 日　高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 13 年 1 月 16 日　40m級梯子車1台購入、米子消防署に配置
平成 13 年 2 月 1 日　生山出張所、救急救命隊業務開始
平成 13 年 2 月 28 日　化学消防自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 13 年 4 月 1 日　第6代清水　隆消防局長就任
平成 13 年 4 月 1 日　消防職員7名採用、防災支援要員4名配置
平成 13 年 4 月 1 日　鳥取県防災監危機管理課に職員1名派遣

平成 13 年 11 月 19 日　高規格救急車1台購入、中山出張所に配置
平成 13 年 12 月 1 日　中山出張所、救急救命隊業務開始
平成 14 年 1 月 31 日　(財)日本損害保険協会からタンク車寄贈、皆生出張所に配置
平成 14 年 1 月 31 日　中山出張所改築改修工事完成
平成 14 年 4 月 1 日　第7代廣谷耕史消防局長就任
平成 14 年 4 月 1 日　消防職員3名採用
平成 14 年 4 月 1 日　大山消防署特殊災害隊発足
平成 14 年 12 月 20 日　広報車1台購入、皆生出張所に配置
平成 15 年 1 月 21 日　救助工作車(Ⅱ型)1台購入、江府消防署に配置
平成 15 年 3 月 20 日　指揮車1台購入、境港消防署に配置
平成 15 年 4 月 1 日　消防職員3名採用
平成 15 年 4 月 1 日　鳥取県防災局消防課に職員1名派遣
平成 15 年 10 月 15 日　広報車2台購入(米子消防署・大山消防署に配置)
平成 15 年 11 月 17 日　高規格救急車1台購入、西伯出張所に配置
平成 15 年 12 月 1 日　西伯出張所、救急救命隊業務開始
平成 16 年 3 月 5 日　広報車2台購入(中山出張所・生山出張所に配置)
平成 16 年 3 月 17 日　指揮車2台購入(大山消防署・江府消防署に配置)
平成 16 年 4 月 1 日　消防職員1名採用
平成 16 年 4 月 1 日　総務省消防庁に職員1名を派遣
平成 16 年 10 月 1 日　西伯町と会見町が合併し、南部町が誕生
平成 16 年 10 月 1 日　米子消防署西伯出張所を米子消防署南部出張所に名称変更
平成 16 年 11 月 29 日　高規格救急車1台購入、溝口出張所に配置
平成 16 年 12 月 15 日　溝口出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 1 月 1 日　岸本町と溝口町が合併し、伯耆町が誕生
平成 17 年 1 月 1 日　江府消防署溝口出張所を米子消防署伯耆出張所に名称変更
平成 17 年 1 月 12 日　消防ポンプ自動車1台購入、境港消防署に配置
平成 17 年 2 月 23 日　高規格救急車1台購入、弓浜出張所に配置
平成 17 年 3 月 9 日　弓浜出張所、救急救命隊業務開始
平成 17 年 3 月 28 日　大山町・名和町・中山町が合併し、大山町が誕生
平成 17 年 3 月 31 日　指令設備を更新し、高機能指令システムを導入
平成 17 年 3 月 31 日　米子市と淀江町が合併し、米子市が誕生
平成 17 年 4 月 1 日　第8代中田正男消防局長就任
平成 17 年 4 月 1 日　消防職員定員292名
平成 17 年 4 月 1 日　消防職員8名採用
平成 17 年 11 月 20 日　高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 17 年 12 月 1 日　皆生出張所、米子消防署救急2分隊高規格救急車を使用し
救急救命隊業務開始
平成 17 年 12 月 21 日　(財)日本損害保険協会から高規格救急車寄贈、皆生出張所に配置
平成 18 年 2 月 28 日　タンク車1台購入、伯耆出張所に配置
平成 18 年 4 月 1 日　消防職員2名採用
平成 18 年 4 月 1 日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成 18 年 11 月 24 日　米子市危険物保安協会から広報車1台寄贈、消防局に配置

平成 19 年 2 月 23 日　タンク車1台購入、大山消防署に配置
平成 19 年 4 月 1 日　米子消防署　新庁舎完成
平成 19 年 4 月 1 日　消防職員2名採用
平成 19 年 11 月 28 日～29 日　平成19年度中国・四国ブロック　緊急消防援助隊合同訓練
平成 19 年 12 月 24 日　化学車1台購入、米子消防署に配置
平成 19 年 12 月 31 日　消防無線基幹改良工事
平成 20 年 1 月 31 日　高規格救急車1台購入、大山消防署に配置
平成 20 年 4 月 1 日　第9代浦木　昇消防局長就任
平成 20 年 4 月 1 日　消防職員3名採用
平成 20 年 4 月 1 日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成 21 年 1 月 28 日　消防ポンプ自動車1台購入、 生山出張所に配置
平成 21 年 2 月 19 日　高規格救急車1台購入、米子消防署に配置
平成 21 年 4 月 1 日　消防職員5名採用
平成 21 年 11 月 2 日　高度救助隊発足
平成 21 年 12 月 9 日　国際消防救助隊編成協力市町村の登録
平成 22 年 1 月 26 日　高規格救急車1台購入、江府消防署に配置
平成 22 年 2 月 15 日　消防ポンプ自動車1台購入、 皆生出張所に配置
平成 22 年 3 月 26 日　高規格救急車1台購入、境港消防署に配置
平成 22 年 4 月 1 日　第10代桑名　強消防局長就任
平成 22 年 4 月 1 日　消防職員定員304名となる。
平成 22 年 4 月 1 日　消防職員14名採用
平成 22 年 4 月 1 日　国際消防救助隊員6名登録
平成 23 年 1 月 14 日　支援車Ⅰ型を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 23 年 2 月 24 日　消防ポンプ自動車2台購入、弓浜出張所・中山出張所に配置
平成 23 年 3 月 7 日　高規格救急車1台購入、生山出張所に配置
平成 23 年 3 月 12 日～21 日　東日本大震災により、宮城県南三陸町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成 23 年 4 月 1 日　消防職員定員313名
平成 23 年 4 月 1 日　消防職員20名採用
平成 23 年 7 月 2 日　消防救急デジタル無線　一部運用開始（救急業務のみ）
平成 23 年 12 月 9 日　伯耆出張所庁舎改修
平成 23 年 12 月 19 日　消防ポンプ自動車2台購入、伯耆出張所・南部出張所に配置
平成 23 年 12 月 21 日　作業車1台購入、消防局に配置
平成 23 年 12 月 22 日　南部出張所庁舎改修
平成 23 年 3 月 21 日　屈折梯子車1台購入、皆生出張所に配置
平成 24 年 4 月 1 日　消防職員定員322名
平成 24 年 4 月 1 日　消防職員18名採用
平成 24 年 4 月 1 日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成 24 年 4 月 13 日　鳥取西部農業協同組合から高規格救急車1台寄贈、中山出張所に配置
平成 24 年 12 月 17 日　消防ポンプ自動車3台購入、境港消防署・大山消防署・江府消防署に配置
平成 25 年 2 月 13 日　化学車1台購入、境港消防署に配置
平成 25 年 2 月 21 日　弓浜出張所庁舎改修
平成 25 年 2 月 28 日　生山出張所庁舎改修
平成 25 年 3 月 11 日　人員搬送車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成 25 年 4 月 1 日　第11代武本和之消防局長就任
平成 25 年 4 月 1 日　消防職員定員327名
平成 25 年 4 月 1 日　消防職員15名採用

平成26年 2月20日　機動連絡車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
平成26年 2月25日　消防ポンプ自動車1台購入、米子消防署に配置
平成26年 3月 6日　江府消防署庁舎改修、車庫新設
平成26年 3月13日　救助工作車Ⅲ型1台購入、皆生出張所に配置
平成26年 3月14日　高規格救急車1台購入、南部出張所に配置
平成26年 4月 1日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成26年 4月 1日　消防職員定員319名
平成26年 4月 1日　消防職員20名採用
平成26年 7月 3日　消防広報車1台を購入、消防局に配置
平成26年12月22日　救命ボート1隻を購入、境港消防署へ配置
平成27年 1月23日　ボートトレーラー1台を購入、境港消防署に配置
平成27年 2月25日　高規格救急自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成27年 2月25日　消防ポンプ自動車1台を購入、米子消防署に配置
平成27年 2月26日　高規格救急自動車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成27年 3月 6日　水難救助支援車1台を購入、境港消防署に配置
平成27年 3月16日　米子消防署皆生出張所移転先用地取得（3,113.11㎡）
平成27年 3月17日　高機能消防指令センター更新整備
平成27年 4月 1日　第12代木山文也消防局長就任
平成27年 4月 1日　消防職員定員314名
平成27年 4月 1日　消防職員14名採用
平成27年 6月30日　消防査察自動車2台購入、消防局、米子消防署に配置
平成27年 7月10日　消防査察自動車1台寄付受納、（株）上田商事様　米子消防署に配置
平成27年12月24日　日南前進基地局（生山無線中継局）解体撤去
平成28年 1月 6日　大山消防署庁舎空調設備改修
平成28年 1月 6日　江府消防署庁舎空調設備改修
平成28年 2月26日　高規格救急自動車2台を購入、皆生出張所、弓浜出張所に配置
平成28年 2月29日　消防ポンプ自動車2台を購入、南部出張所、生山出張所に配置
平成28年 3月31日　米子消防署皆生出張所移転先用地造成工事完了
平成28年 4月 1日　消防職員定員312名
平成28年 4月 1日　消防職員26名採用
平成28年 4月 1日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成28年 4月16日～21日　熊本地震により、熊本県益城町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として出動
平成28年 6月29日　米子消防署皆生出張所新築移転工事着工（平成29年5月完成予定）
平成28年 9月20日　消防査察自動車1台購入、消防局に配置
平成29年 1月12日　消防広報車1台を購入、伯耆出張所に配置
平成29年 1月26日　高規格救急自動車1台を購入、大山消防署に配置
平成29年 2月28日　消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、伯耆出張所に配置
平成29年 3月 8日　消防ポンプ自動車1台を購入、弓浜出張所に配置
平成29年 4月 1日　第13代天野智消防局長就任
平成29年 4月 1日　消防職員定員314名
平成29年 4月 1日　消防職員19名採用
平成29年 5月27日　米子消防署皆生出張所新築移転工事完了
平成29年 6月 1日　米子消防署皆生出張所新庁舎運用開始（鉄骨造2階建延面積1320.53㎡）
平成29年11月24日　消防広報車2台を購入、南部出張所、弓浜出張所に配置
平成29年12月27日　消防ポンプ自動車2台を購入、米子消防署、中山出張所に配置

平成30年 4月 1日　第14代藤山史郎消防局長就任
平成30年 4月 1日　消防職員定数316名
平成30年 4月 1日　消防職員18名採用
平成30年 4月 1日　総務省消防庁に職員1名派遣
平成30年 7月12日　平成30年7月豪雨により、広島県広島市安芸区及び安芸郡海田町へ緊急消防援助
～24日　隊鳥取県隊として出動
平成31年 3月20日　高規格救急自動車1台を購入、境港消防署に配置
平成31年 3月27日　資機材搬送車1台を購入、米子消防署に配置
平成31年 3月27日　消防広報車1台を購入、米子消防署に配置
平成31年 4月 1日　消防職員定数300名
平成31年 4月 1日　消防職員11名採用
令和 2年 3月 3日　高機能消防指令センター部分更新整備
令和 2年 3月19日　高規格救急自動車1台を購入、米子消防署に配置
令和 2年 3月26日　重機及び重機搬送車を総務省消防庁より無償使用、消防局に配置
令和 2年 4月 1日　消防職員定数292名
令和 2年 4月 1日　消防職員8名採用
令和 2年 4月 1日　総務省消防庁に職員1名派遣
令和 3年 1月15日　タンク車1台を購入、伯耆出張所に配置
令和 3年 3月 5日　指揮車1台を購入、消防局に配置
令和 3年 3月11日　高規格救急自動車1台を購入、境港消防署に配置
令和 3年 3月19日　高規格救急自動車1台を購入、江府消防署に配置
令和 3年 4月 1日　消防職員7名採用
令和 3年11月19日　タンク車1台納入、江府消防署に配置
令和 3年11月24日　指揮車1台納入、境港消防署に配置
令和 4年 3月15日　高規格救急自動車1台を購入、生山出張所に配置
令和 4年 4月 1日　第15代赤川紀夫消防局長就任
令和 4年 4月 1日　消防職員8名採用
令和 4年 4月 1日　総務省消防庁に職員1名派遣
令和 5年 2月28日　高規格救急自動車1台を購入、中山出張所に配置
令和 5年 3月 1日　指揮車1台を購入、江府消防署に配置
令和 5年 3月 1日　指揮車1台を購入、大山消防署に配置
令和 5年 4月 1日　消防職員5名採用
令和 5年 8月30日　大山消防署大規模改修工事完了し、竣工式を実施（敷地面積：1854㎡）
令和 6年 1月 9日　令和6年能登半島地震により、石川県穴水町へ緊急消防援助隊鳥取県隊として
～21日　出動
令和 6年 2月 1日　梯子車1台を購入、境港消防署に配置
令和 6年 3月 1日　指揮車1台を購入、米子消防署に配置
令和 6年 3月 1日　消防広報車3台を購入、米子消防署、皆生出張所、大山消防署に配置
令和 6年 3月27日　米子消防署南部出張所改修工事完了
令和 6年 4月 1日　第16代安達憲吾消防局長就任
令和 6年 4月 1日　消防職員16名採用
令和 6年 4月 1日　総務省消防庁に職員1名派遣
令和 7年 1月31日　広報車1台を購入、中山出張所に配置
令和 7年 1月31日　広報車1台を購入、生山出張所に配置
令和 7年 3月17日　高規格救急自動車1台を購入、南部出張所に配置
令和 7年 4月 1日　消防職員13名採用

歴代の管理者・議長

歴代管理者

米子市長	河合弘道	(S47.4.30～S58.4.29)
〃	松本　儆	(S58.4.30～H 3.4.29)
〃	森田隆朝	(H3.4.30～H15.4.29)
〃	野坂康夫	(H15.4.30～H29.4.23)
〃	伊木隆司	(H29.4.24～　　)

歴代議長

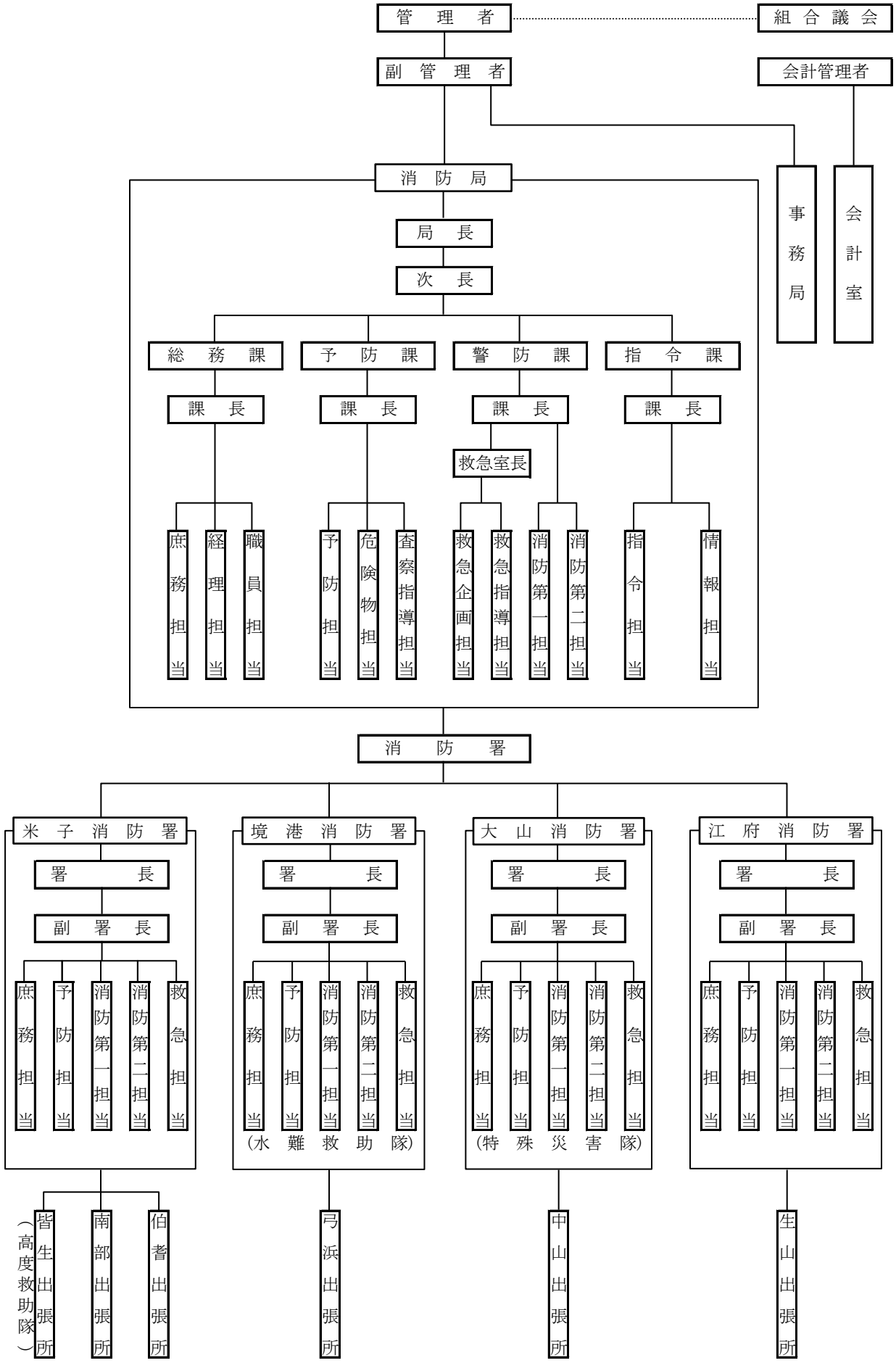
初代	足立六郎	(米子市)	S47.8.16～S50.4.30
二代	田丸喜久治	(〃)	S50.7.28～S54.4.30
三代	安達昭男	(〃)	S54.6.2～S56.6.29
四代	田村繁夫	(〃)	S56.10.16～S57.12.9
五代	福谷　清	(〃)	S58.1.31～S58.4.30
六代	広江　弍	(〃)	S58.6.10～S59.7.19
七代	国尾　茂	(〃)	S59.10.8～S61.7.17
八代	茅野恒治	(〃)	S61.9.5～S62.4.30
九代	種原敏彦	(〃)	S62.6.11～H元.6.23
十代	塚田喜美	(〃)	H元.6.23～H3.4.30
十一代	福谷　清	(〃)	H3.6.13～H5.6.25
十二代	足芝孝幸	(〃)	H5.10.25～H7.4.30
十三代	間瀬庄作	(〃)	H7.7.13～H11.4.30
十四代	平田　賢	(〃)	H11.7.29～H13.6.22
十五代	中本実夫	(〃)	H13.7.12～H15.4.30
十六代	生田　薫	(〃)	H15.7.28～H17.3.30
十七代	生田　薫	(〃)	H17.4.15～H18.6.30
十八代	吉岡知己	(〃)	H18.7.20～H20.7.10
十九代	中村昌哲	(〃)	H20.7.25～H22.6.30
二十代	渡辺照夫	(〃)	H22.8.24～H24.6.29
二十一代	松井義夫	(〃)	H24.6.29～H26.6.30
二十二代	渡辺穣爾	(〃)	H26.8.28～H28.8.3
二十三代	尾沢三夫	(〃)	H28.8.3～H30.6.30
二十四代	渡辺穣爾	(〃)	H30.8.30～R2.6.30
二十五代	岩﨑康朗	(〃)	R2.11.19～R4.6.30
二十六代	稲田　清	(〃)	R4.8.31～R6.7.4
二十七代	岡田啓介	(〃)	R6.8.28～

歴代の消防長

歴代消防長・消防局長

初代消防長	名和義則	S51.5.2～S57.3.31
第二代消防長	仲田末男	S57.4.1～S59.6.30
第三代消防長	西田英二	S59.7.1～H元.3.31
第四代消防長	岩佐弘志	H元.4.1～H7.3.31
第五代消防局長	石上洋二	H7.4.1～H13.3.31
第六代消防局長	清水　隆	H13.4.1～H14.3.31
第七代消防局長	廣谷耕史	H14.4.1～H17.3.31
第八代消防局長	中田正男	H17.4.1～H20.3.31
第九代消防局長	浦木　昇	H20.4.1～H22.3.31
第十代消防局長	桑名　強	H22.4.1～H25.3.31
第十一代消防局長	武本和之	H25.4.1～H27.3.31
第十二代消防局長	木山文也	H27.4.1～H29.3.31
第十三代消防局長	天野　智	H29.4.1～H30.3.31
第十四代消防局長	藤山史郎	H30.4.1～R4.3.31
第十五代消防局長	赤川紀夫	R4.4.1～R6.3.31
第十六代消防局長	安達憲吾	R6.4.1～

鳥取県西部広域行政管理組合消防局組織図



消防機関の出動状況等

（令和6年1月1日～令和6年12月31日）

区分＼種別		計 (ア)～(サ)	火災 (ア)	救急 (イ)	救助 (ウ)
消・防署局所	出動回数	15,028	81	13,234	190
	出動延人員	55,648	1,067	43,137	2,380

救急応援 (エ)	風水害 (オ)	その他警戒 (カ)	火災誤報 (キ)	演習訓練 (ク)
926	0	247	9	12
6,540	0	943	142	192

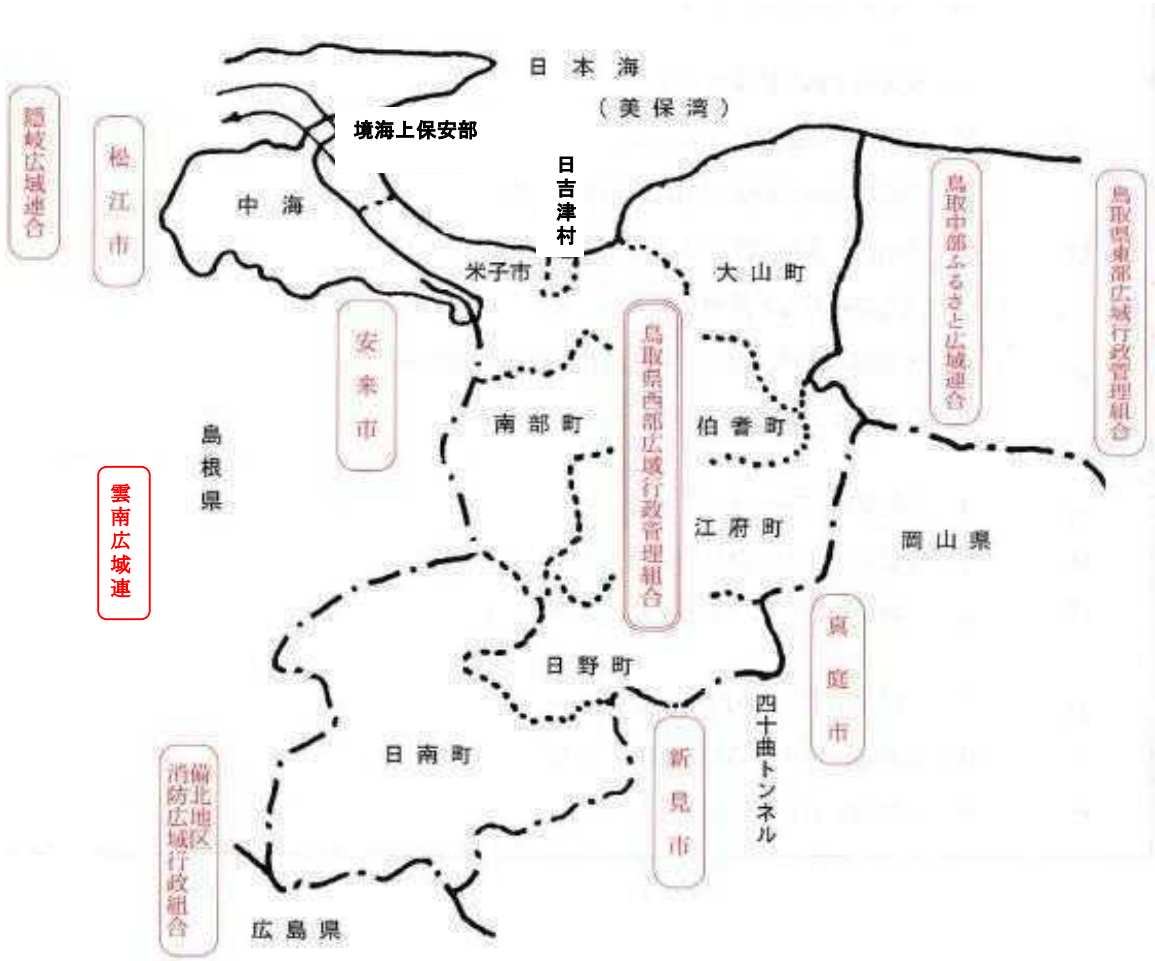
※救急応援の出動延べ人数は、救急隊の出動人数を含む。

訓練・指導 (ケ)	警防調査 (コ)	特別警戒 (サ)
210	57	62
839	197	211

相互応援協定

令和7年4月1日現在

名　　称	協　定　団　体	締結･改訂年月日
中海・宍道湖・大山圏域消防相互応援協定	松江市（島根県） 安来市（　〃　） 出雲市（　〃　）	平成28年 7月 8日
隠岐島の救急業務の共同処理	松江市（島根県） 出雲市（　〃　） 隠岐広域連合（　〃　）	平成14年 1月 1日（改）
高速自動車国道中国横断自動車道岡山米子線における消防相互応援に関する協定	真庭市（岡山県）	平成17年10月 1日（改）
山陰道（米子西～安来）における消防相互応援に関する協定	安来市（島根県）	平成24年 3月14日
鳥取県下広域消防相互応援協定	鳥取県東部広域行政管理組合 鳥取中部ふるさと広域連合	平成19年 4月30日（改）
鳥取県西部広域行政管理組合と備北地区消防広域行政組合の消防相互応援協定	備北地区消防広域行政組合（広島県）	平成12年 3月31日
消防相互応援に関する協定書	新見市（岡山県） 真庭市（　〃　）	平成17年10月 1日（改）
	雲南広域連合（島根県）	平成23年 9月 1日(改)



事　務　分　掌

1　消防局事務分掌

令和7年4月1日現在

総務課	（1）　人事、給与、服務及び例規に関すること。 （2）　総合計画及び企画に関すること。 （3）　予算及び経理に関すること。 （4）　消防用財産の管理に関すること。 （5）　職員の研修に関すること。 （6）　他の課に属しないこと。
予防課	（1）　火災の予防に関すること。 （2）　危険物の規制に関すること。 （3）　災害原因及び損害の調査に関すること。 （4）　建築同意事務に関すること。 （5）　消防用設備等の指導に関すること。 （6）　火薬類の譲渡、譲受け及び消費の許可に関すること。 （7）　液化石油ガス設備工事の届出に関すること。
警防課	（1）　警防業務に関すること。 （2）　救助業務に関すること。 （3）　消防機械器具及びその装備に関すること。 （4）　機関業務に関すること。 （5）　救急業務に関すること。
指令課	（1）　消防指令業務に関すること。 （2）　消防関係情報の処理に関すること。 （3）　通信機器の管理に関すること。

2 消防署事務分掌

庶務担当	（1） 署内人事及び賞罰に関すること。 （2） 署員の教養訓練及び服務に関すること。 （3） 経理に関すること。 （4） 各種統計に関すること。 （5） 他の分掌に属さないこと。
予防担当	（1） 災害の調査に関すること。 （2） 予防査察に関すること。 （3） 火災予防の届出等に関すること。 （4） 危険物の規制に関すること。 （5） 建築同意に関すること。 （6） 火災予防の啓発及び宣伝に関すること。 （7） 火災の原因及び損害の調査並びにり災証明に関すること。 （8） 液化石油ガス設備工事の届出に関すること。
消防第一担当	（1） 水火災，地震等の警戒及び災害防ぎょに関すること。 （2） 水火災の警防計画に関すること。 （3） 消防訓練の実施に関すること。 （4） 災害の情報の処理に関すること。 （5） 救助業務に関すること。 （6） 消防用器具の維持管理に関すること。

消防第二担当	（１）　消防機械に関する教養及び訓練に関すること。 （２）　消防機械の整備、保全及び検査に関すること。 （３）　消防用地理、水利の点検、調査及び情報に関すること。 （４）　通信指令機器の維持管理に関すること。
救急担当	（１）　救急隊業務に関すること。 （２）　救急指定医療機関との連絡調整に関すること。 （３）　救急統計、報告等に関すること。

３　出張所事務分掌

（１）　火災その他災害防ぎょに関すること。
（２）　文書の収受、発送及び記録の整備保全に関すること。
（３）　庁舎の維持管理及び諸物品の保管に関すること。
（４）　所属職員の教養訓練に関すること。
（５）　予防査察に関すること。
（６）　火災予防の届出等に関すること。
（７）　火災予防の啓発、宣伝に関すること。
（８）　火災の原因及び損害の調査並びにり災証明に関すること。
（９）　消防用地理、水利の点検及び調査に関すること。
(10)　消防用器具及び消防機械の整備保全に関すること。
(11)　水火災その他災害情報連絡及び消防通信に関すること。
(12)　救急業務に関すること。
(13)　救助業務に関すること。
(14)　その他出張所に関すること。

消　防　職　員

(1-1) 職員配置状況　　令和7年4月1日現在

	条例定員	実員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
平元.4.1	253	253	1	2	6	7	33	52	28	112	2
平 2.4.1	258	258	1	2	6	7	36	57	32	115	2
平 3.4.1	262	262	1	2	6	11	38	59	33	110	2
平 4.4.1	264	264	1	2	6	11	43	63	33	103	2
平 5.4.1	277	277	1	2	6	13	48	63	43	99	2
平 6.4.1	284	284	1	1	7	14	49	66	53	91	2
平 7.4.1	284	284	1	2	8	12	54	67	55	83	2
平 8.4.1	287	284	1	2	8	12	60	71	53	75	2
平 9.4.1	287	287	1	2	8	12	63	72	53	74	2
平10.4.1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平11.4.1	287	287	1	2	8	12	64	74	56	68	2
平12.4.1	287	286	1	2	8	13	63	74	56	67	2
平13.4.1	287	287	1	2	8	14	63	74	57	66	2
平14.4.1	287	287	1	2	8	15	63	82	51	63	2
平15.4.1	287	287	1	2	8	15	64	91	38	66	2
平16.4.1	287	287	1	2	9	33	59	91	37	53	2
平17.4.1	292	290	1	3	11	38	63	90	36	46	3
平18.4.1	292	291	1	2	12	47	72	91	29	34	3
平19.4.1	292	292	1	2	14	45	77	89	28	33	3
平20.4.1	292	292	1	2	14	47	78	89	27	31	3
平21.4.1	292	292	1	5	11	49	77	110	3	34	2
平22.4.1	304	303	1	3	14	54	79	113	11	26	2
平23.4.1	313	313	1	3	15	62	102	81	4	43	2
平24.4.1	322	321	1	3	16	68	99	76	0	56	2
平25.4.1	327	327	1	1	19	75	99	64	14	52	2
平26.4.1	319	318	1	3	17	64	95	63	20	51	2
平27.4.1	314	314	1	3	17	75	87	54	26	49	2
平28.4.1	312	311	1	6	13	73	78	52	30	57	1
平29.4.1	314	314	1	3	16	74	75	51	36	57	1
平30.4.1	316	314	1	4	15	69	69	54	39	62	1
平31.4.1	300	300	1	3	16	59	64	52	54	50	1
令 2.4.1 (職員定数条例変更)	292	299	1	8	11	58	64	58	58	40	1
令 3.4.1	292	300	1	8	11	57	66	59	72	25	1
令 4.4.1	292	298	1	8	11	56	66	58	74	23	1
令 5.4.1	292	291	1	4	15	57	68	59	68	18	1
令 6.4.1	292	295	1	3	16	57	69	61	58	29	1
令 7.4.1	292	296	1	3	16	58	69	59	54	35	1

(1-2) 職員配置状況　　令和7年4月1日現在

		実　員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
消防局	消防局長	1	1								
	総務課	21		1	1	4	1			13	1
	予防課	5			1	3	1				
	警防課	7			3	3	1				
	指令課	15		1	1	5	5	3			
	派遣中の者	4				1	2	1			
米子消防署	本　署	54		1	2	8	15	11	8	9	
	皆生出張所	26			1	3	8	11	3		
	南部出張所	13				2	3	3	5		
	伯耆出張所	13				2	3	3	5		
境港消防署	本　署	42			3	7	11	10	7	4	
	弓浜出張所	13				2	3	3	5		
大山消防署	本　署	28			2	7	5	4	6	4	
	中山出張所	13				2	3	3	5		
江府消防署	本　署	28			2	7	5	4	7	3	
	生山出張所	13				2	3	3	5		
合　計		296	1	3	16	58	69	59	56	33	1

(2) 職員在職年数　　令和7年4月1日現在

	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
人数	296	1	3	16	58	69	59	54	35	1
平均年数	15	43	37	35	31	15	8	6	1	1
1年未満	14								13	1
1年	16								16	
2年	5								5	
3年	8							7	1	
4年	6							6		
5年	7							7		
6年	6							6		
7年	16							16		
8年	17						8	9		
9年	22						19	3		
10年	9						9			
11年	17					5	12			
12年	14					8	6			
13年	16					12	4			
14年	15					14	1			
15年	11					11				
16年	3					3				
17年	2					2				
18年	2					2				
19年	2					2				
20年	7				2	5				
21年	1					1				
22年	2				1	1				
23年	2				2					
24年	6				4	2				
25年										
26年	1				1					
27年	1				1					
28年	5				5					
29年										
30年	3			1	2					
31年	11			1	10					
32年	12				12					
33年	4				4					
34年	8			3	5					
35年	5			2	3					
36年	8			5	3					
37年	2		2							
38年	4		1	3						
39年	1				1					
40年	1			1						
41年										
42年	2				2					
43年	1	1								
44年										
45年	1					1				

(3) 職員年齢構成　　令和7年4月1日現在

	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
人数	296	1	3	16	58	69	59	55	34	1
平均年齢	36.3	61.0	55.3	54.2	51.1	38.2	30.8	26.0	20.5	54.0
18歳未満										
18歳	7								7	
19歳	7								7	
20歳	6								6	
21歳	7							3	4	
22歳	10							6	4	
23歳	6							3	3	
24歳	3							3		
25歳	8							6	2	
26歳	13						1	11	1	
27歳	15						7	8		
28歳	9						6	3		
29歳	10						5	5		
30歳	15						10	5		
31歳	9						8	1		
32歳	12					5	7			
33歳	9					4	5			
34歳	10					5	4	1		
35歳	8					5	3			
36歳	11					9	2			
37歳	11					10	1			
38歳	5					5				
39歳	3					3				
40歳	3					3				
41歳	4					4				
42歳	5					5				
43歳	5					5				
44歳	4				2	2				
45歳	2				1	1				
46歳	4				3	1				
47歳	5				4	1				
48歳	3				3					
49歳	6			1	5					
50歳	11				11					
51歳	6				6					
52歳	9			4	5					
53歳	7			2	5					
54歳	7			3	3					1
55歳	5		2	1	2					
56歳	5		1	1	3					
57歳	3			2	1					
58歳	2			1	1					
59歳	1			1						
60歳	3				3					
61歳	1	1								
62歳	1					1				

（4） 職員研修

ア 委託研修（その１）

令和７年４月１日現在

教育内容＼年度別		平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
消防大学校	本科																	
	幹部科	1												1	1		1	1
	上級幹部科								1				1					
	予防科				1	1	1	1			1							
	警防科				1			1					1			1		
	救急科			1			1		1		1			1			1	
	救助科		1			1			1	1		1			1			1
	危険物（保安）科								1			1				1		
	火災原因調査科																	
	機械技術者養成科																	
	火災調査科									1			1					
	火災調査講習会																	
	危機管理セミナー																	
	緊急消防援助隊教育科（ＮＢＣ対策コース）										1							
	緊急消防援助隊教育科（指揮隊長コース）					1		1		1		1				1		
	高度救助コース			1			1								1		1	
	防災講習会																	
	危機管理講習会																	
	違反是正特別講習							1										
	査察業務マネジメントコース													1				1
	女性活躍推進コース											1						
島根県消防学校																		
山口県消防学校（水難救助課程）											1	1	1			1	1	1
救急救命東京研修所		2	2	1	1	1	1	2		2	2	2	2	2		2	2	2
救急救命九州研修所		2	2	1	1	1	1	2	4	2	2	2	2	2	4	2	2	2
救急救命士業務実地修練		1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	1		1	1	1	1
海上自衛隊第一術科学校																		
独立行政法人 海洋研究開発機構（潜水技術研修）																		
海上自衛隊舞鶴潜水技術研修						1	1											
陸上自衛隊化学学校																		
鈴鹿サーキット交通教育																		
安全運転管理者研修			1	1	1	1		2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2

（4）職員研修

イ　委託研修（その２）

令和７年４月１日現在

	教育内容＼年度別	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
鳥取県消防学校	初任教育	3	5	14	20	18	15	20	14									
	初任総合教育									26	19	18	11	8	7	8	5	16
	現任教育																	
	幹部教育				5													
	上級幹部教育						5			5			5			5		
	中級幹部教育	5	5	5		5			5			5			5			4
	初級幹部科							5			5			5				
	救急Ⅰ課程																	
	救急Ⅱ課程																	
	救急科	7		14	20	18	15	20	14									
	救急実務研修会																	
	救急救命士講習（挿管）																	
	救急救命士講習（薬剤）	8	14															
	外傷研修																	
	危険物科				5			5			5			5			4	
	救助科		4		5		5		5		5		4		5	5	5	
	特殊災害科					5			5			5			5			5
	無線通信科																	
	機関科																	
	火災調査科						5			5			5			5		
	電気設備科																	
	予防査察科	5	5			5		5		5		4		5		5		5
	警防科					5		5		5		5		5		4		3
	予防科																	
	梯子自動車講習会																	
	昇任者研修	6	5															
	指揮研修	5		10	10	10	10						5				5	5
	管理職研修			5	5	5												
	警防研修					1	3	3	3		3	3		3	3	3		
	救助研修					3	5	5										
	実火災体験型訓練コース							20	19	20		15						
	ﾎｯﾄﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ２日間コース												12		11	12		
	予防研修（違反是正コース）									5	5	5						
	介護研修													10				
	緊急消防援助隊活性化コース															5	5	5
	救急救命士活性化コース														5	5	2	

(5) 職員採用試験

ア 第一次試験(令和7年4月1日採用)

実施日	実施場所	試験内容	受験者数
令和6年9月22日	西部消防局	教養試験	23名
		適性検査	
		体力試験	

イ 第二次試験(令和7年4月1日採用)

実施日	実施場所	試験内容	受験者数
令和6年10月27日	西部消防局	作文試験	18名
		面接試験	

ウ 採用試験実績(過去5年)

年度	受験者数	一次試験合格者数	最終合格者数	競争率
令和2年度	37名	15名	7名	5.2倍
令和3年度	32名	14名	8名	4.0倍
令和4年度	14名	7名	5名	2.8倍
令和5年度	33名	23名	16名	2.1倍
令和6年度	23名	18名	13名	1.8倍

消防予算の状況

消 防 予 算 の 状 況

(1) 令和7年度当初予算額の対前年度比較

(単位:千円)

科　　目	令和7年度予算	令和6年度予算	比 較 増 減
(款) 消 防 費	5,178,124	2,969,393	2,208,731
(項) 消 防 費	5,178,124	2,969,393	2,208,731
(目) 1 常 備 消 防 費	2,782,259	2,766,076	16,183
(節) 1 報　　酬	0	0	0
2 給　　料	1,078,642	1,042,110	36,532
3 職 員 手 当 等	698,767	709,205	△ 10,438
4 共 済 費	356,967	344,673	12,294
5 災 害 補 償 費	0	0	0
7 報 償 費	479	513	△ 34
8 旅　　費	3,592	3,665	△ 73
9 交 際 費	10	10	0
10 需 用 費	179,966	180,401	△ 435
11 役 務 費	37,124	35,661	1,463
12 委 託 料	81,802	82,283	△ 481
13 使 用 料 及 び 貸 借 料	16,444	18,565	△ 2,121
14 工 事 請 負 費	0	2,596	△ 2,596
15 原 材 料 費	156	156	0
17 備 品 購 入 費	13,085	19,766	△ 6,681
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	22,435	24,402	△ 1,967
21 補 償 補 填 及 び 賠 償 費	0	0	0
24 積 立 金	290,250	299,948	△ 9,698
26 公 課 費	2,540	2,122	418
(目) 2 消 防 施 設 費	2,395,865	203,317	2,192,548
(節)8 旅　　費	479	129	350
10 需 用 費	47	62	△ 15
11 役 務 費	744	0	744
12 委 託 料	1,375,964	11,219	1,364,745
13 使 用 料 及 び 賃 借 料	41	0	41
14 工 事 請 負 費	663,475	143,047	520,428
17 備 品 購 入 費	354,015	48,860	305,155
18 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	1,100	0	1,100

(2) 令和7年度当初予算額の財源内訳

(単位:千円)

区分 / 科目	予算額	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国・県支出金	地方債	その他	
(款)消防費	5,178,124	99,075	2,083,700	12,897	2,982,452
(項)消防費	5,178,124	99,075	2,083,700	12,897	2,982,452
(目)常備消防費	2,782,259	6,820	0	8,944	2,766,495
(目)消防施設費	2,395,865	92,255	2,083,700	3,953	215,957

(3) 令和6年度決算額

(単位:円)

科目	当初予算額	予算現額	決算見込額
(款)消防費	2,969,393,000	3,142,256,000	3,108,322,807
(項)消防費	2,969,393,000	3,142,256,000	3,108,322,807
(目)1常備消防費	2,766,076,000	2,945,464,000	2,920,377,227
(節)1報酬	0	0	0
2給料	1,042,110,000	1,059,977,000	1,058,257,235
3職員手当等	709,205,000	872,772,000	870,399,382
4共済費	344,673,000	353,476,000	343,058,431
5災害補償費	0	0	0
7報償費	513,000	503,000	452,240
8旅費	3,665,000	3,163,873	3,015,063
9交際費	10,000	10,000	0
10需用費	180,401,000	178,855,540	175,116,567
11役務費	35,661,000	35,632,200	33,296,426
12委託料	82,283,000	79,529,600	77,389,969
13使用料及び貸借料	18,565,000	15,558,400	15,117,685
14工事請負費	2,596,000	2,090,000	2,090,000
15原材料費	156,000	156,000	155,045
17備品購入費	19,766,000	18,177,460	18,068,126
18負担金補助及び交付金	24,402,000	23,485,927	21,885,258
21補償補填及び賠償費	0	0	0
24積立金	299,948,000	299,948,000	299,948,000
26公課費	2,122,000	2,129,000	2,127,800
(目)2消防施設費	203,317,000	196,792,000	187,945,580
(節)8旅費	129,000	129,000	128,320
10需用費	62,000	62,000	17,160
11役務費	0	0	0
12委託料	11,219,000	9,390,000	8,592,100
13使用料及び賃借料	0	0	0
14工事請負費	143,047,000	142,914,000	134,911,000
17備品購入費	48,860,000	44,297,000	44,297,000
19負担金補助及び交付金	0		

消　防　施　設

消　防　施　設　等　の　状　況

令和7年4月1日現在

(1)　消防庁舎及び無線中継所の位置・構造

名　　称	所　在　地	構　　造	建物延面積(㎡)	敷地面積(㎡)
消　防　局	米子市両三柳5452番地	鉄骨鉄筋コンクリート造6階建	3,972.30	6,865.23
主　訓　練　塔		鉄骨鉄筋コンクリート造7階建	637.00	
副　訓　練　塔		鉄骨造2階建	141.00	
米子消防署	米子市冨士見町一丁目103番地1	鉄筋コンクリート造3階建	2,305.35	2,211.85
米子消防署 皆生出張所	米子市上福原313番地1	鉄骨造2階建	1,320.53	3,113.11
米子消防署 南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	鉄筋コンクリート造平屋建(一部鉄骨造)	286.52	749.18
米子消防署 伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	〃	281.67	900.96
境港消防署	境港市中野町2116番地	鉄筋コンクリート造2階建	1,565.70	5,560.00
境港消防署 弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	鉄筋コンクリート造平屋建 鉄骨造平屋建(自動車車庫)	199.88 52.00	746.00
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	鉄骨造2階建(一部鉄筋コンクリート造)	648.05	1,854.87
大山消防署 中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	鉄筋コンクリート造平屋建(一部鉄骨造)	330.29	1,136.38
江府消防署	日野郡江府町大字武庫1390番地3	鉄筋コンクリート造 鉄骨造2階建	513.66	1,051.00
江府消防署 生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	鉄筋コンクリート造平屋建	229.70	782.20
古峠山無線中継所	西伯郡伯耆町二部字間地山2143番地1	鉄骨造平屋建ALC板 付属設備(送受信塔)鉄骨造16.5m	28.73	100.00
鬼林山無線中継所	日野郡日南町神福字塩滝山2069番地	鉄骨造平屋	20.00	93.10
一息坂無線中継所	西伯郡大山町羽田井字大谷1420番地	鉄骨造平屋建 付属設備(送受信塔)鉄骨造17.3m	20.00	107.75

(2)消防吏員待機宿舎概要

名　　称	所　在　地	構　　造	建物延面積(㎡)	敷地面積(㎡)
生山北寮(独身寮) 消防待機宿舎北寮	日野郡日南町生山349番地	鉄筋コンクリート造平屋建	107.00	365.14

(3) 消防車両等配置数

推移＼車種別	総数	消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防自動車	はしご付消防自動車	救助工作車	高発泡車	救急自動車（２Ｂ）	救急自動車（高規格）	指揮車	査察・広報車	作業車	消防艇	電源・照明車	資機材搬送車	その他車両
平 10. 4. 1	80	21	4	3	3	3		11	3	5	22	1		1	1	2
平 11. 4. 1	80	21	4	3	3	3		10	4	5	21	1		1	1	3
平 12. 4. 1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	22	1		1	1	3
平 13. 4. 1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 14. 4. 1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 15. 4. 1	81	21	4	3	3	3		9	5	5	21	1		1	1	4
平 16. 4. 1	81	21	4	3	3	3		7	7	5	21	1		1	1	4
平 17. 4. 1	81	21	4	3	3	3		5	9	5	21	1		1	1	4
平 18. 4. 1	81	21	5	3	3	3		3	11	5	21	1		1	1	4
平 19. 4. 1	82	20	6	3	3	3		2	12	5	21	1		1	1	4
平 20. 4. 1	78	18	6	3	3	3		1	13	5	21	1			1	3
平 21. 4. 1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 22. 4. 1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 23. 4. 1	78	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	3
平 24. 4. 1	77	18	6	3	3	3			14	5	20	1			1	3
平 25. 4. 1	80	18	6	3	3	3			14	5	22	1			1	4
平 26. 4. 1	80	18	6	3	3	3			14	5	21	1			1	4
平 27. 4. 1	79	18	6	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 28. 4. 1	79	18	6	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 29. 4. 1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 30. 4. 1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
平 31. 4. 1	79	19	5	3	3	3			14	5	19	1			1	6
令 2. 4. 1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 3. 4. 1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 4. 4. 1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 5. 4. 1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 6. 4. 1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7
令 7. 4. 1	78	18	4	3	3	3			14	5	19	1			1	7

令和7・4・1	消防局		15								2	1	6	1				5
	米消防子署	本署	14	4		1	1				2	1	4				1	
		皆生出張所	6	1	1		1	1			1		1					
		南部出張所	4	2							1		1					
		伯耆出張所	4	1	1						1		1					
	境港消防署	本署	12	2		2	1	1			2	1	1					2
		弓浜出張所	4	2							1		1					
	大山消防署	本署	5	1	1						1	1	1					
		中山出張所	4	2							1		1					
	江府消防署	本署	6	1	1			1			1	1	1					
		生山出張所	4	2							1		1					
	計		78	18	4	3	3	3	0	0	14	5	19	1	0	0	1	7

(4) 消防車両概況

所属	車号	登録番号	車名	艤装	購入年月日	摘要
消防局	局救急1号車	鳥取800さ6647	トヨタ	高規格車 4WD	平成26. 3. 5	消防庁補助
	局救急2号車	鳥取800さ5708	トヨタ	高規格車 4WD	平成23. 2. 26	消防庁補助
	局指揮車	鳥取800さ8814	トヨタ	支援車Ⅳ型	令和 3. 3. 5	消防庁補助
	機動連絡車	鳥取800さ6630	トヨタ		平成26. 2. 20	総務省より無償使用
	広報1号車	鳥取400せ 782	トヨタ		平成26. 7. 3	
	広報3号車	鳥取500ね 325	ニッサン		平成18. 11. 24	寄贈 米子危保協会
	局査察1号車	鳥取580に4755	ニッサン		平成27. 6. 30	
	局査察2号車	鳥取480け9376	三菱		平成28. 9. 23	
	局査察3号車	鳥取480こ3713	ダイハツ		平成29. 6. 5	
	局査察5号車	鳥取580た3212	三菱		平成24. 7. 23	
	支援車	鳥取800は 512	日野	支援車 Ⅰ型	平成23. 1. 12	総務省より無償使用
	人員輸送車	鳥取800さ6302	トヨタ	マイクロバス	平成25. 3. 11	総務省より無償使用
	連絡車	鳥取300た1821	ニッサン		平成16. 5. 27	
	作業車	鳥取800さ5938	いすゞ	積載 2t	平成23. 12. 21	
	重機搬送車	鳥取800さ 934	三菱ふそう	5t重機	令和 2. 3. 26	総務省より無償使用
米子消防署	1号車	鳥取800さ6632	日野	CD－Ⅰ・A2	平成26. 2. 21	消防庁補助
	2号車	鳥取800さ6934	日野	CD－Ⅰ・A2	平成27. 2. 25	消防庁補助
	3号車	鳥取800さ7630	日野	CD－Ⅰ・A2	平成29. 3. 15	消防庁補助
	5号車	鳥取800さ7910	日野	CD－Ⅰ・A2	平成30. 1. 30	消防庁補助
	化学車	鳥取800は 387	日野	Ⅱ型・A2	平成19. 12. 14	
	梯子車	鳥取800は 110	ニッサンD	40m級	平成19. 2. 23	消防庁補助
	救急1号車	鳥取800さ6933	ニッサン	高規格車 4WD	平成27. 2. 25	
	救急2号車	鳥取800さ8546	トヨタ	高規格車 4WD	令和 2. 3. 19	消防庁補助
	指揮車	鳥取800さ8814	トヨタ		令和 6. 3. 25	
	資材搬送車	鳥取800さ8247	いすゞ	積載 2t	平成31. 3. 27	
	米子広報1号車	鳥取800さ9672	ニッサン		令和 6. 3. 28	
	米子広報2号車	鳥取400せ5355	ニッサン		平成30. 8. 28	
	米子査察1号車	鳥取580に4702	ニッサン		平成27. 6. 30	
	米子査察2号車	鳥取580に5477	三菱		平成27. 7. 10	寄贈 上田商事
皆生出張所	1号車	鳥取800さ5365	日野	CD－Ⅰ・A2	平成22. 2. 15	
	タンク車	鳥取800は 337	日野	Ⅰ－B・A2	平成19. 2. 23	
	救助工作車	鳥取800は 641	日野	Ⅲ型	平成26. 3. 10	消防庁補助
	屈折梯子車	鳥取800は 556	日野	15m級	平成24. 3. 21	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ7305	トヨタ	高規格車 4WD	平成28. 2. 26	消防庁補助
	広報車	鳥取800さ9673	ニッサン		令和 6. 3. 28	
南部出張所	1号車	鳥取800さ5955	日野	CD－Ⅰ・A2	平成23. 12. 19	
	2号車	鳥取800さ7299	日野	CD－Ⅰ・A2	平成28. 2. 29	消防庁補助
	救急車	鳥取800さ9916	トヨタ	高規格車 4WD	令和 7. 3. 17	消防庁補助
	広報車	鳥取880あ 870	ニッサン		平成29. 12. 21	

所属	車　　号	登 録 番 号	車　名	艤　　装	購入年月日	摘　　要
伯耆出張所	タ　ン　ク　車	鳥取800さ975	日野	Ｉ－B･A2	令和 3. 1. 15	消防庁補助
	2　　号　　車	鳥取800さ7629	日野	CD－Ｉ･A2	平成29. 3. 15	消防庁補助
	救　　急　　車	鳥取800さ6938	トヨタ	高規格車 4WD	平成27. 2. 26	消防庁補助
	広　　報　　車	鳥取880あ 804	ニッサン		平成29. 1. 30	
境港消防署	1　　号　　車	鳥取800さ5956	日野	CD－Ｉ･A2	平成23. 12. 19	
	2　　号　　車	鳥取800さ6234	日野	CD－Ｉ･A2	平成24. 12. 17	
	救 助 工 作 車	鳥取800は 51	日野	Ⅱ型	平成12. 2. 21	防衛省補助
	ボートトレーラ	鳥取800る 147	シーマリン		平成27. 1. 22	
	化 学 1 号 車	鳥取88 は 107	日野	Ⅳ型･A1	平成13. 2. 28	防衛省補助
	化 学 2 号 車	鳥取800は 584	日野	Ⅱ型･A2	平成25. 2. 13	防衛省補助
	梯　　子　　車	鳥取800は1126	日野	30m級	令和 6. 2. 15	防衛省補助
	救 急 1 号 車	鳥取800さ8823	トヨタ	高規格車 4WD	令和 3. 3. 11	防衛省補助
	救 急 2 号 車	鳥取800さ8244	トヨタ	高規格車 4WD	平成31. 3. 20	防衛省補助
	指　　揮　　車	鳥取800さ9004	トヨタ		令和 3. 11. 24	
	境 港 広 報 車	鳥取880あ 95	ダイハツ		平成18. 8. 7	
	水難救助支援車	鳥取800さ6951	トヨタ		平成27. 3. 6	
弓浜出張所	1　　号　　車	鳥取800さ5713	日野	CD－Ｉ･A2	平成23. 2. 25	消防庁補助
	2　　号　　車	鳥取800さ7635	日野	CD－Ｉ･A2	平成29. 3. 13	防衛省補助
	救　　急　　車	鳥取800さ7307	トヨタ	高規格車 4WD	平成28. 2. 26	防衛省補助
	広　　報　　車	鳥取880あ 871	ニッサン		平成29. 12. 21	
大山消防署	1　　号　　車	鳥取800さ6233	日野	CD－Ｉ･A2	平成24. 12. 17	
	タ　ン　ク　車	鳥取800は 292	日野	Ｉ－B･A2	平成18. 2. 28	消防庁補助
	救　　急　　車	鳥取800さ7601	トヨタ	高規格車 4WD	平成29. 2. 28	
	指　　揮　　車	鳥取800さ9410	トヨタ		令和 5. 3. 1	
	広　　報　　車	鳥取800さ9674	ニッサン		令和 6. 3. 28	
中山出張所	1　　号　　車	鳥取800さ5714	日野	CD－Ｉ･A2	平成23. 2. 25	消防庁補助
	2　　号　　車	鳥取800さ7909	日野	CD－Ｉ･A2	平成30. 1. 30	消防庁補助
	救　　急　　車	鳥取800さ9405	トヨタ	高規格車 4WD	令和 5. 2. 28	
	広　　報　　車	鳥取880あ1299	トヨタ		令和 7. 1. 31	
江府消防署	1　　号　　車	鳥取800さ6232	日野	CD－Ｉ･A2	平成24. 12. 17	
	タ　ン　ク　車	鳥取800は1011	日野		令和 3. 11. 19	
	救 助 工 作 車	鳥取800さ2568	日野	Ⅱ型	平成15. 3. 20	消防庁補助
	救　　急　　車	鳥取800さ8824	トヨタ	高規格車 4WD	令和 3. 3. 19	消防庁補助
	指　　揮　　車	鳥取800さ9409	トヨタ		令和 5. 3. 1	
	江 府 広 報 車	鳥取800さ6282	ニッサン		平成25. 2. 27	
生山出張所	1　　号　　車	鳥取800さ7300	日野	CD－Ｉ･A2	平成28. 2. 29	
	2　　号　　車	鳥取800さ5044	日野	CD－Ｉ･A2	平成21. 1. 28	消防庁補助
	救　　急　　車	鳥取800さ9104	トヨタ	高規格車 4WD	令和 4. 3. 15	消防庁補助
	広　　報　　車	鳥取880あ1300	トヨタ		令和 7. 1. 31	

消防ポンプ自動車18　タンク車4　救助工作車3　化学車3　梯子車3
救急車14　指揮車5　広報車13　査察車6　作業車1　人員輸送車1
支援車1　資機材搬送車1　連絡車1　ボートトレーラー1　機動連絡車1　水難救助支援車1　重機搬送車1

(5) 救急･救助

(5-1) 救急隊配置場所

配置場所	車両区分	隊数
米子消防署	高規格救急車	2 隊
皆生出張所	高規格救急車	1 隊
南部出張所	高規格救急車	1 隊
伯耆出張所	高規格救急車	1 隊
境港消防署	高規格救急車	2 隊
弓浜出張所	高規格救急車	1 隊
大山消防署	高規格救急車	1 隊
中山出張所	高規格救急車	1 隊
江府消防署	高規格救急車	1 隊
生山出張所	高規格救急車	1 隊

(5-2) 高規格救急車積載一覧

積載器具名		数量	積載器具名		数量
心電図伝送装置		1 式	感染防止用資材セット		3 式
半自動式除細動器		1 式	舌圧子		3
ベッドサイドモニター		1 式	舌鉗子		1
自動式人工呼吸器		1 式	マギール鉗子	大・小	各 1
心電計		1 式	ネックカラー	大・中・小	各 1
全身固定用具		1 式	万能ハサミ		2
在宅医療セット		1 式	フェイスマスク	大・中・小	各 2
頭部固定具		1 式	輸液セット	三方活栓付チューブ	4
新生児用資器材		1 式	乳酸リンゲル液		5
携帯電話		1	留置針	18・20・22	適量
携帯無線機		1	アドレナリン		5
電動吸引器		1 式	経口エアウェイ	大・中・小・極小	各 1
陰圧式固定具		1 式	経鼻エアウェイ	6・7・8・9	適量
バックボード		1 式	鼻カニューレ		1
バッグマスクセット		1 式	クリーンネット		1
喉頭鏡セット		1 式	洗面器		1
メインストレッチャー		1	尿器		1
スクープストレッチャー		1	開口器		1
サブストレッチャー		1	吸引カテーテル		適量
ユニオン担架		1	医療廃棄物回収容器		1
布担架		1	洗眼器		1
酸素ボンベ	10リットル	2	気管内挿管チューブ	4・5・7・8・9	適量
減圧弁		2	気管切開カニューレ		適量
酸素加湿流量計	二連	1	〃 マスク		適量
血圧計	アネロイド・ハンド式	各 1	ピンセット		1
聴診器		3	スタイレット		4
温・冷蔵庫		1	プラスチックグローブ		適量
救命浮環		1	手術用手袋		適量
ガラス破壊器具		1	ディスポ電極	心電計用	適量
万能斧		1	三角布		適量
レスキューシザー		1	不織布ガーゼ		適量
バール		1	滅菌ガーゼ		適量
サーチライト		4	各種テープ		適量
水中めがね		2	紙マスク		適量
トリアージタグ		適量	消毒綿		適量
毛布		2	梯状副子	大・中・小	各 1
食道閉鎖式エアウエイ		適量	砂のう		3
酸素マスク		適量	固定用ベルト		2
救急シート		1	シリンジ	10・20・30mm	各 1
雨覆いシート		1	冷却パック		2
駆血帯		3	患者搬送記録・搬送証		適量
止血帯	ケース入	1	救命処置記録票		適量
体温計		1	住宅地図		1 式
円座まくら		1	ブドウ糖		4
まくら		1	血糖測定器		1 式
自動式心マッサージ器		1 式			

(5-3) 救助隊配置場所

配置場所	隊区分	車両区分
米子消防署	救助隊	化学消防自動車(Ⅱ型)
境港消防署	救助隊兼水難救助隊	救助工作車(Ⅱ型)
大山消防署	救助隊兼特殊災害隊	水槽付消防自動車
江府消防署	救助隊	救助工作車(Ⅱ型)
皆生出張所	高度救助隊	救助工作車(Ⅲ型)

(5-4) 高度救助用資機材一覧

機材名	規格
画像探索機 Ⅰ型	オリンパス IV8675L1－SV90セット(一式)
画像探索機 Ⅱ型	オリンパスIPLEX－UltraLife IV8635U(一式)
地中音響探知機	サウンドトレーサーAK－6(一式)
熱画像直視装置	エボリューション6000(MSA)(一式)
夜間用暗視装置	ナイトスコープ エクスノクス ×650(一式)
地震警報器	サクラ Qアラート マークⅡ(一式)

(5-5) 救助工作車(Ⅲ型)積載一覧

積載器具名		数量	積載器具名		数量
かぎ付き梯子	3.1m	1	耐電ヘルメット		2
三連梯子	8.7m	1	耐電長靴		2
三連梯子用キット	クレーン、水平2法	1 式	ハイブリット対応セット		1 式
救命索発射銃	レステックエアー	1 式	安全帯		1
救助用縛帯	クイックストラップ	1	信号機付投光器		1 式
救助用縛帯	ピタゴール	1	ランタン	大、小	2
救助用縛帯	エバックハーネス	1	ケミカルライト		適量
救助用縛帯	レスキュースリング	1	携帯拡声器		2
検索用バッグ	ザイル、簡易縛帯	1 式	携帯GPS	ガーミン	1
バスケット担架		1	双眼鏡	測距計	1
スケッドストレッチャー		1	双眼鏡	双眼鏡	1
バックボード一式		1	点滅棒		3
ナイロンロープ	小綱、巻ロープ	適量	カラーコーン		5
カラビナ		適量	消火器		1
滑車	ワイドプーリーTR-300	適量	デジカメ		1
都市型救助資機材	ザイル、ギア他	1 式	張力計	ダイナホール5t型	1
油圧ジャッキ	プランジャーラム	1 式	救急バック		1 式
電動油圧スプレッダー	ルーカス	1 式	要救助者用ヘルメット		2
可搬ウインチ	チルホールT35	1 式	要救助者用毛布		2
ワイヤーロープ	1.6m、4m、5m	5	プライバシー保護シート		1
Vスリング	3m、5m	9	毛布		適量
救助用三脚	テラダプター	1 式	発電機		1
マット型空気ジャッキ	レスキューテック23t、58t,132t	1 式	予備燃料	混合ガソリン	適量
マット型空気ジャッキ	リフトバック1t、3t、5t	1 式	予備電池		適量
大型油圧スプレッダー	ホルマトロ	1 式	鳶口		1
電動油圧切断機	ルーカスカッター	1	レスキューシザー		1
エンジンカッター		1	グラスマスター		2
ガス溶断機	ペトロカッター	1	バール		1
チェーンソー		1	アングルカッター		2
レシプロソー	ヒルティ	1 式	工具セット		2 式
鉄筋カッター	オグラ	1 式	絶縁工具セット		1 式
ペダルカッター	ホルマトロ	1 式	パイプレンチ		1
空気鋸	タイガーエアソー	1 式	検電器		1
大型油圧切断機	ホルマトロカッター	1 式	ステップチョーク		2 式
空気切断機	パクハンマー	1 式	レスキューブロック		適量
万能斧	レスキューアッキス	1	あて木		適量
大斧		1	エアーバックセーフ	運転席用	1
大ハンマー	防爆ハンマー	1	指揮板		1
コンクリート破壊器具	レッドワン	1 式	サルベージシート		2
ハンマードリル	ヒルティ	1 式	トランスポートバック		2
可燃ガス測定器	GX8000	1	水難救助バック	救命胴衣	1 式
可燃ガス測定器	コスモス	1	吸着マット		適量
熱画像直視装置	エボリューション	1	ACライト		適量
空気呼吸器	M30	2	レーザー距離計		1
予備ボンベ	4.7ℓ	4	デッキブラシ		2
簡易呼吸器	パラートC5530	2	のこぎり		2
送排風機	ダクト10m	1 式	なた		4
耐電衣(上下)		2	鎌		1
MTターボ		1	おたふく		1
モーションスカウト		5	だるまジャッキ		1
夜間用暗視装置	ナイトスコープ	1	レスキューブランケット		1
グラインダー		1			

(6) 通信施設

指令施設

指令台	3式	指令用ディスプレイ 地図用ディスプレイ 支援情報ディスプレイを装備
指揮台	1式	
無線統制台	1式	
署所端末装置	11式	
各種表示盤	1式	支援情報表示盤・車両運用表示盤・多目的情報表示装置
Eメール指令装置	1式	

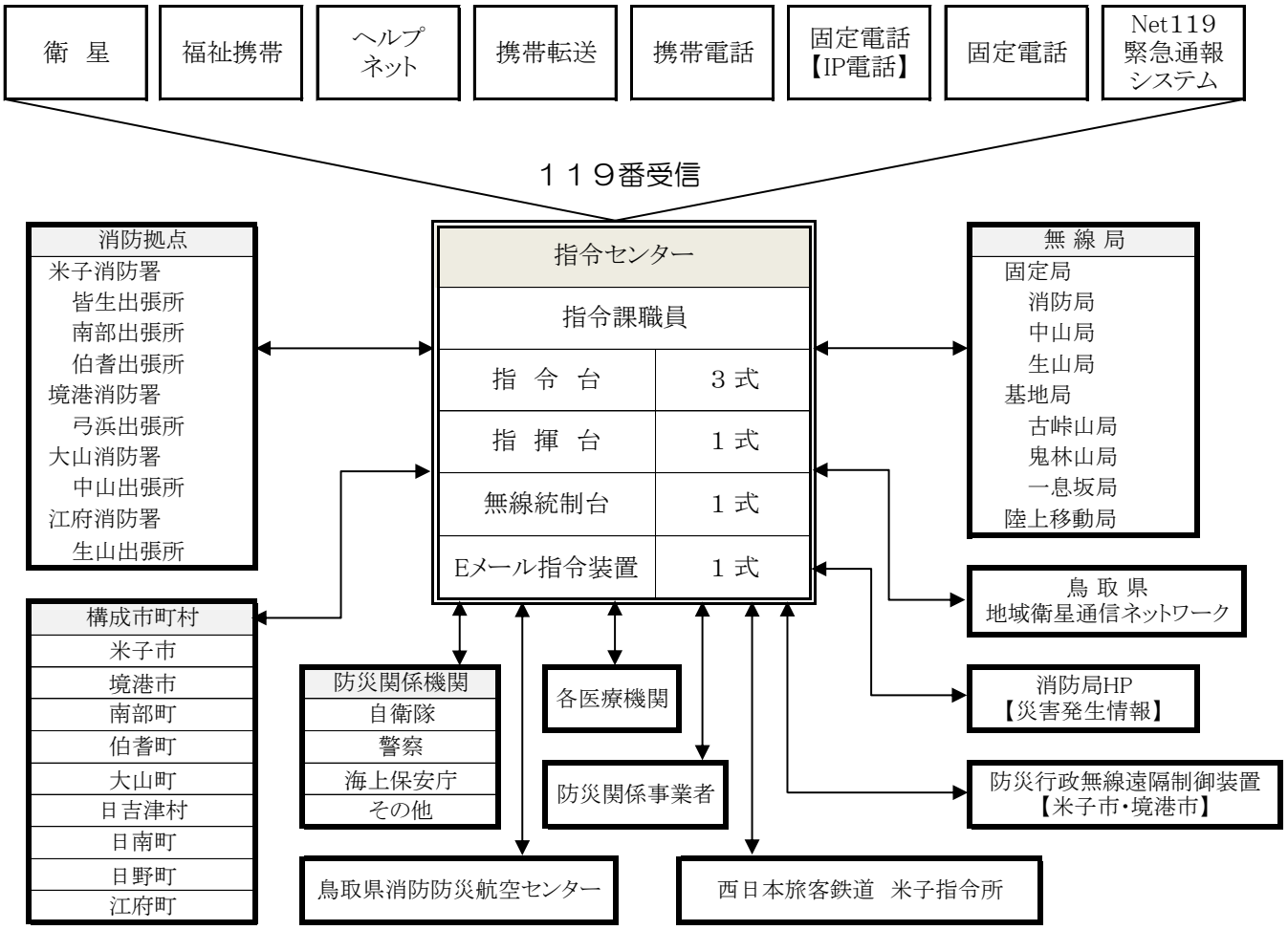
有線通信設備

119番専用回線		17回線	
	固定電話回線	17回線	IP電話・FAX119・転送
	携帯電話回線	4回線	
	ヘルプネット回線	2回線	
一般加入電話		15回線	
火災情報案内電話		7回線	
専用線	署所端末装置専用線	10回線	
	防災関係機関専用線	3回線	
指令用光回線		1式	全消防拠点

無線通信設備

無線回線制御装置			1式	デジタル無線設備用
固定局	VSAT地球局		1局	鳥取県地域衛星通信ネットワーク
	多重	消防局	1局	マイクロ7.5G(デジタル併用)
		古峠山局	1局	マイクロ7.5G(デジタル併用)
	簡易多重	鬼林山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		一息坂局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		生山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
		中山局	1局	簡易マイクロ(FWA18G)
基地局	デジタル	古峠山局	1局	
		鬼林山局	1局	
		一息坂局	1局	
陸上移動局	車載型		69局	デジタル5W
	携帯型		77局	デジタル1W
	可搬型		5局	デュアル5W/10W
	卓上型		11局	デジタル5W
	署活系携帯型		12局	アナログ1W

通 信 系 統 図



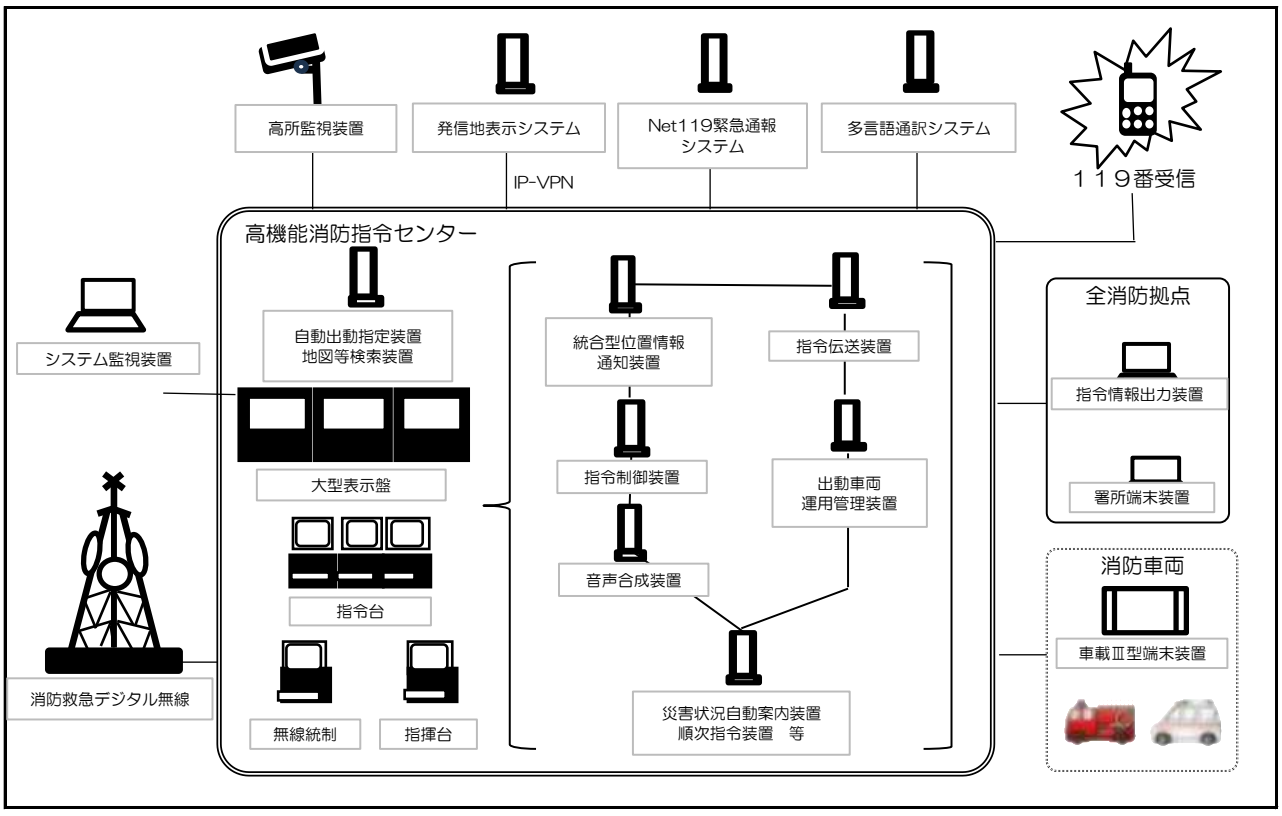


図 指令センター構成イメージ

予　　防

予　　防

（1） 防火対象物の現況

令和7年3月31日現在

項別 / 種別	(1)		(2)				(3)		(4)	(5)		(6)				(7)	(8)
	イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ	イ	ロ		イ	ロ	イ	ロ	ハ	ニ		
対象物種別	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	公会堂又は集会場	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	遊技場又はダンスホール	性風俗関連特殊営業店舗	カラオケボックス等	待合、料理店その他これらに類するもの	飲食店	百貨店、マーケット、店舗又は展示場	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	寄宿舎、下宿又は共同住宅	病院、診療所、又は助産所	老人短期入所施設、養護老人ホーム	老人ディサービスセンター等	幼稚園、特別支援学校	小中学校、高校、大学、各種学校等	図書館、博物館、美術館等
延べ面積150㎡以上のもの	17	130		22		7	1	227	431	170	1,966	210	135	277	16	333	27
防火管理者を選任すべきもの	16	116		20		7	1	195	283	97	181	52	100	139	11	89	13

項別 / 種別	(9)		(10)	(11)	(12)		(13)		(14)	(15)	(16)		16の2	16の3	(17)	(18)	
	イ	ロ			イ	ロ	イ	ロ			イ	ロ					
対象物種別	蒸気浴場、熱気浴場等	イに掲げる以外の公衆浴場	停車場、船舶又は航空機の発着場	神社、寺院、教会等	工場又は作業場	映画スタジオ又はテレビスタジオ	自動車車庫又は駐車場	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	倉庫	前項号に該当しない事業所	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	地下街	準地下街	重要文化財・重要美術品等の建築物	延長五十メートル以上のアーケード	合計
延べ面積150㎡以上のもの	13	6	5	168	1,114		144	9	962	1,355	603	176			45	9	8,578
防火管理者を選任すべきもの	3	3	2	68	82				13	197	304	23			1		2,016

※(17)、(18)は150㎡未満も含む

(2) 各種届出事務処理の状況　　令和6年4月1日～令和7年3月31日

項目	消防計画作成（変更）届出書	防火管理者選任（解任）届出書	防火対象物点検結果報告書	防火対象物点検報告特例認定申請書	防災管理点検結果報告書	煙火打上げ仕掛け届出書	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱開始届出書	消防用設備等点検結果報告書	炉・厨房・ボイラー等設置届	変・発・蓄電池等設置届	少量危険物・指定可燃物等の貯蔵又は取扱開始届出書	防火対象物使用開始届
受理数	422	370	144	38	6	22	91	4,448	48	90	90	230

(3) 防火対象物の用途別査察状況　　令和6年4月1日～令和7年3月31日

			査察件数
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	6
	ロ	公会堂又は集会場	28
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブ等	0
	ロ	遊技場又はダンスホール	5
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗	0
	ニ	カラオケボックス等	1
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	0
	ロ	飲食店	26
4		百貨店、マーケット、店舗又は展示場	61
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	59
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	11
6	イ	病院、診療所、又は助産所	19
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム	24
	ハ	老人デイサービスセンター等	45
	ニ	幼稚園、特別支援学校	2
7		小中学校、高校、大学、各種学校等	82
8		図書館、博物館、美術館等	2
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	3
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2
10		停車場、船舶又は航空機の発着場	1
11		神社、寺院、教会等	16
12	イ	工場又は作業場	106
13	イ	自動車車庫又は駐車場	23
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0
14		倉庫	54
15		前項号に該当しない事業所	124
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	73
	ロ	イに掲げる以外の複合用途防火対象物	11
17		重要文化財・重要美術品等の建築物	33
18		延長五十メートル以上のアーケード	0
		合計	817

(4) 建築同意の用途別事務処理状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区分			合計	新築	増築	その他
1	イ	劇場・映画館等				
	ロ	公会堂又は集会場				
2	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗				
	ニ	カラオケボックス等				
3	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	5	5		
4		百貨店・店舗等	17	16	1	
5	イ	旅館・ホテル	2	2		
	ロ	共同住宅・寄宿舎	13	12		1
6	イ	病院・診療所等	5	4	1	
	ロ	老人短期入所施設等	1	1		
	ハ	老人デイサービス等	4	2	2	
	ニ	幼稚園・養護学校等	1		1	
7		学校				
8		図書館・美術館				
9	イ	蒸気・熱気浴場等				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10		車両の停車場等				
11		神社・寺院等	2	1	1	
12	イ	工場・作業場	20	6	14	
	ロ	テレビスタジオ等				
13	イ	車庫・駐車場	4	3	1	
	ロ	飛行機の格納庫	1		1	
14		倉庫	16	12	4	
15		前各号に該当しない事業所	40	30	10	
16	イ	特別防火対象物が存する複合用途防火対象物	3	3		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	4	3	1	
17		重要文化財				
18		50m以上のアーケード				
		対象物外				
一般住宅		専用住宅	43	33	10	
		長屋住宅	33	33		
合計			214	166	47	1

(5) 危険物製造所等の地区別施設件数

令和7年3月31日現在

施設 / 市町村名	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般
米子市	392	1	53	23	11	95		62	7	78	1		61
境港市	365	1	24	70	3	39		105	42	39		1	41
日吉津村	10		2			1			1	6			
大山町	108		5	5	5	52		11	3	16			11
南部町	39		7	1	1	10		9		6			5
伯耆町	69		3	4	3	35		2	1	13			8
日南町	33			3	1	11		6		8			4
日野町	21		2	2	1	9				4			3
江府町	24		1			7		1		8			7
合計	1,061	2	97	108	25	259		196	54	178	1	1	140

(6) 危険物製造所等の事務処理件数

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区分 / 施設	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般
設置許可	14		3			2		7					2
変更許可	61		1	8		7			1	37			7
設置完成検査	16	1	1	4				7					3
変更完成検査	65		1	12		7			1	37		1	6
仮使用承認	47			9	1	1				29		1	6
完成検査前検査	8												
仮貯蔵・仮取扱	41												
品名・数量等変更届	6												
譲渡引渡届	5												
設置者等変更届	49												
廃止届	26												
保安監督者選解任届	86												
使用休止再開届	12												

（7） 危険物施設査察状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

製造所	貯蔵所							取扱所				計
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
	27	30	2	64		19	9	34			23	208

（8） 火薬類取締法関係

令和6年4月1日～令和7年3月31日

	区分	件数
許可	譲渡許可	3
	譲受許可	1
	譲受・消費許可	17
	煙火消費許可	47
	合計	68

	区分		件数
立入検査	消費場所	採石	3
		土木	4
		その他	2
	煙火消費許可		47
	合計		56

（9） 液化石油ガス法関係

令和6年4月1日～令和7年3月31日

処理内容	件数
液化石油ガス設備工事届受理	18

火　災　概　況

Ⅰ　火災概況

1　火災件数と死傷者数

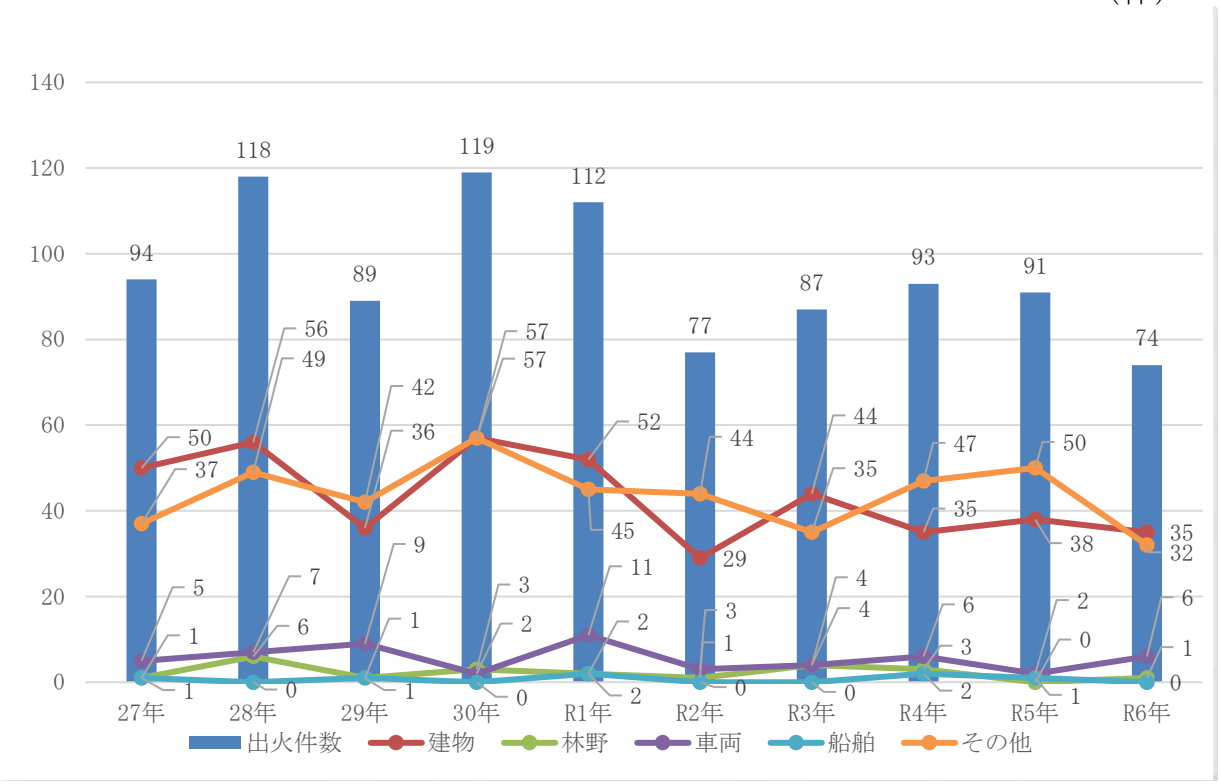
令和６年は 74 件で、前年と比較して 17 件減少しました。74 件のうち、建物火災が 35 件（47.3%）を占め、約半数が住宅から発生しています。

この 10 年間の火災件数をみると、平均して 100 件前後で推移していますが、令和２年から５年連続で 100 件以下となり、減少傾向にあります。

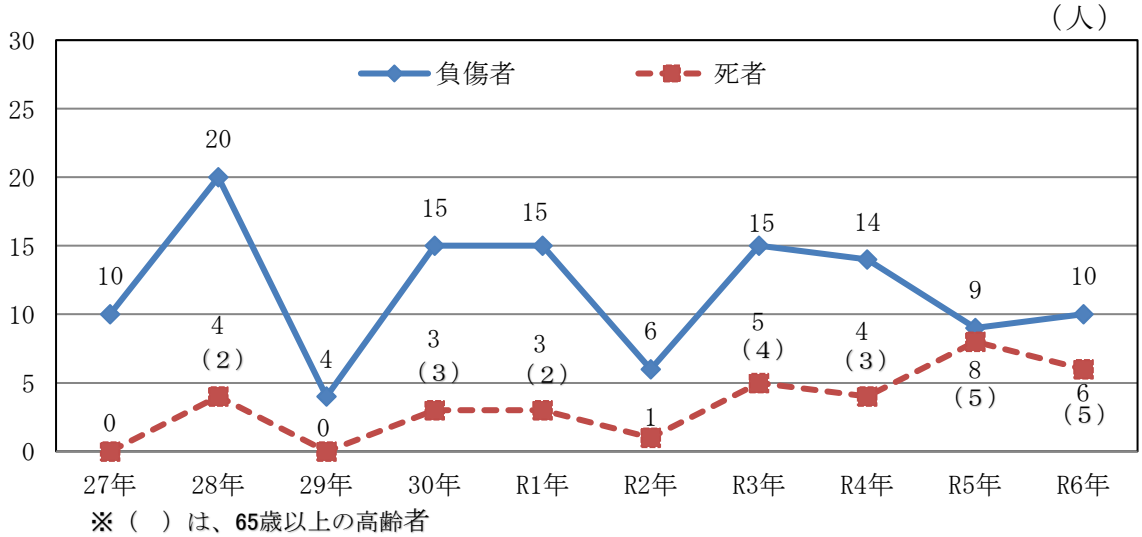
火災による死者は６人で、負傷者は 10 人でした。

死者６人のうち、５人が 65 歳以上の高齢者で 83.3%を占めています。

図Ⅰ－１　火災件数



図Ⅰ－２　死傷者数



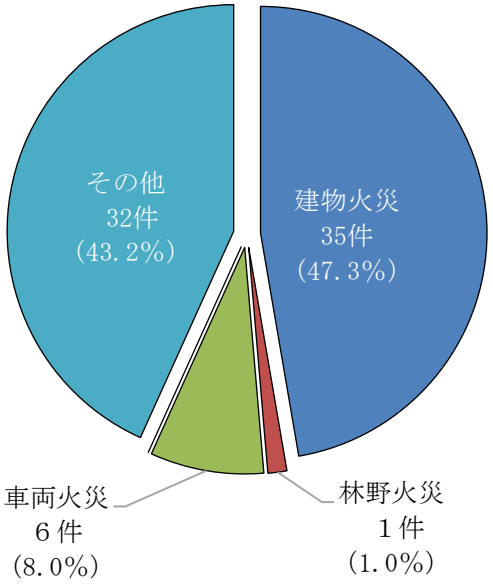
※（　）は、65歳以上の高齢者

2　出火状況

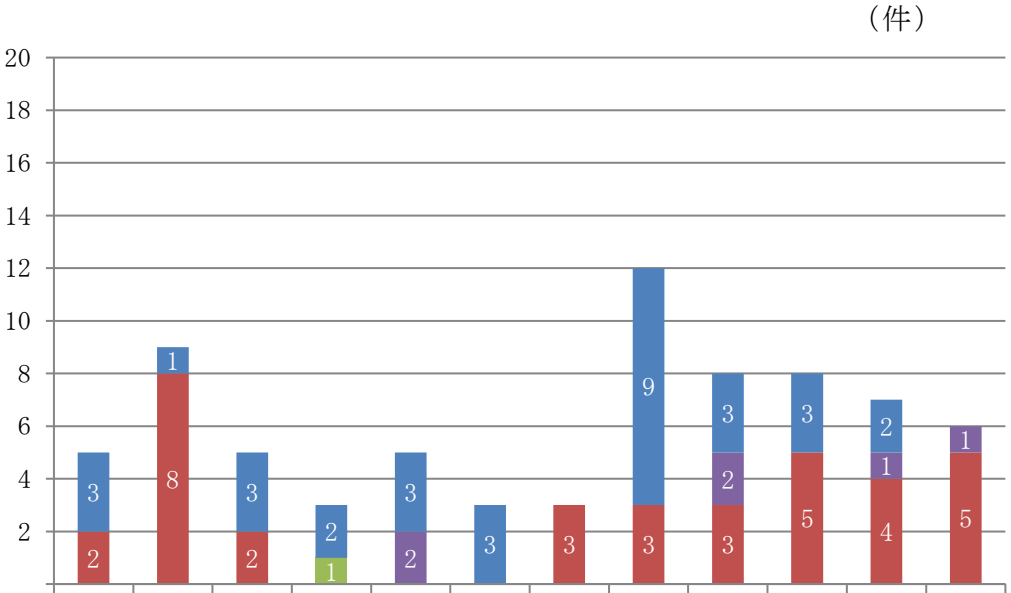
令和６年中の火災件数の構成比率をみると、建物火災が 47.3％で最も高い比率を占め、その次にその他火災が 43.2％となっています。

火災種別ごとの出火件数を月別でみると、建物火災は 35 件で２月、10 月、12 月に多く発生し、その他火災は 32 件で８月だけで９件発生しています。

図Ⅰ－３　火災種別件数



図Ⅰ－４　月別の火災発生状況



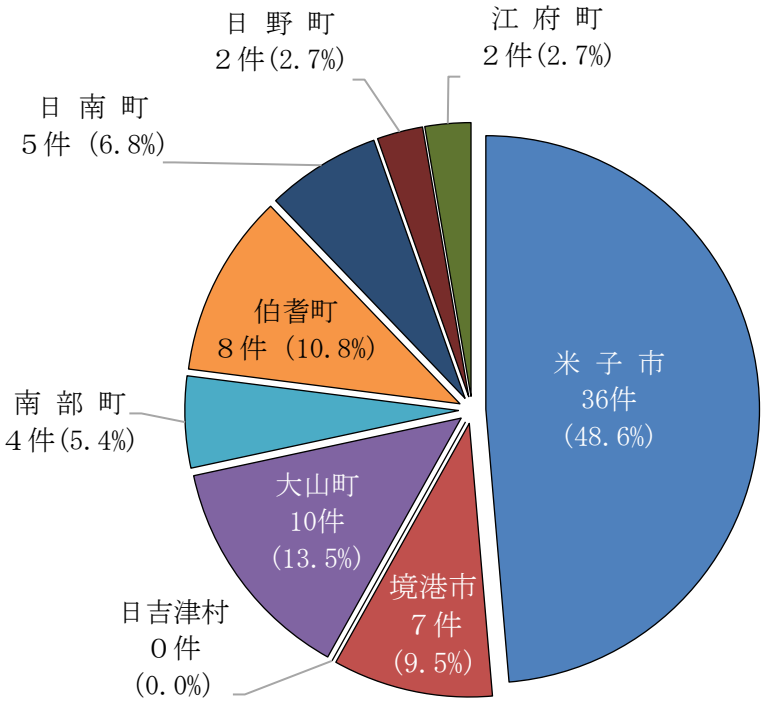
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その他火災	3	1	3	2	3	3		9	3	3	2	
船舶火災												
車両火災					2				2		1	1
林野火災				1								
建物火災	2	8	2				3	3	3	5	4	5

3　市町村別火災状況

令和６年中の火災件数を市町村別でみると、米子市が 36 件（48.6%）と最も多く、次いで大山町 10 件（13.5%）、伯耆町８件（10.8%）、境港市７件（9.5%）、となりました。

火災による損害額は、米子市が 7,707 万１千円と最も多く、次いで日野町、大山町となりました。

図Ⅰ－５　市町村別火災件数



別表Ⅰ　損害額の状況

市町村名	火災件数						焼損面積			損害額（千円）
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a	
米子市	36	17		5		14	1,237	6		77,071
境港市	7	6				1	194	86		9,267
日吉津村										
大山町	10	5				5	332	15		13,622
南部町	4	2				2				945
伯耆町	8	1		1		6	32			2,041
日南町	5	2				3	198	2		2,305
日野町	2	2					178			13,657
江府町	2		1			1			144	
合計	74	35	1	6		32	2,171	109	144	118,908

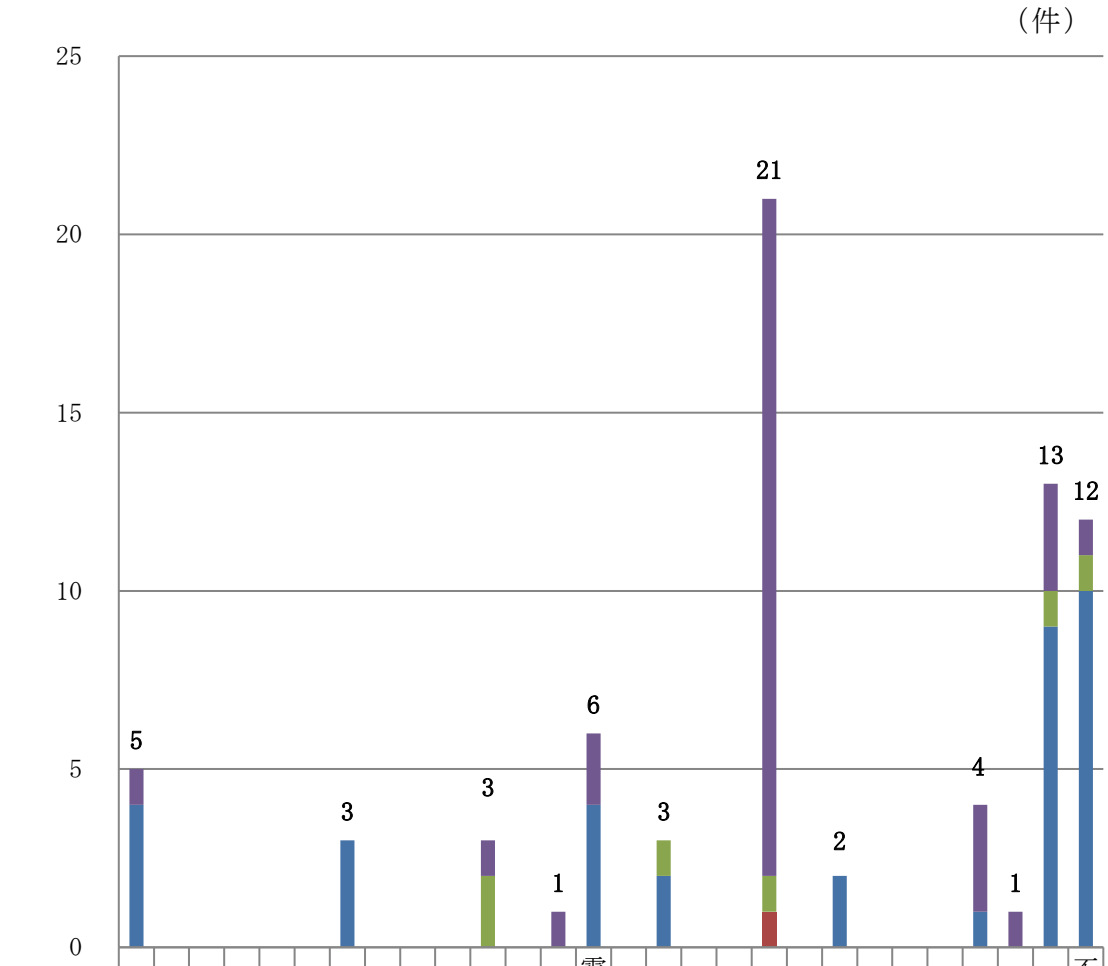
4　出火原因

令和６年中の出火原因をみると「たき火」が 21 件と最も多く、次いで「その他」が 13 件、「電灯等の配線」が６件、「たばこ」が５件となっています。

前年と比較し「ストーブ」、「電灯等の配線」、「放火」が増加、「たばこ」、「たき火」、「その他」による出火原因が減少しました。

「その他」の主なものは、線香、ローソク、ハンドトーチ、グラインダーの火花によるものなどです。

図Ⅰ－６　火災種別ごとの火災原因



	たばこ	こんろ	かまど	風呂かまど	炉	焼却炉	ストーブ	こたつ	ボイラー	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	電灯等の配線	内燃機関	配線器具	火遊び	マッチ等	たき火	溶接機	灯火	衝突の火花	取灰	火入れ	放火	放火の疑い	その他	不明・調査中
合計	5	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	1	6	0	3	0	0	21	0	2	0	0	0	4	1	13	12
その他	1										1		1	2					19						3	1	3	1
船舶																												
車両											2					1			1								1	1
林野																			1									
建物	4						3							4		2					2				1		9	10

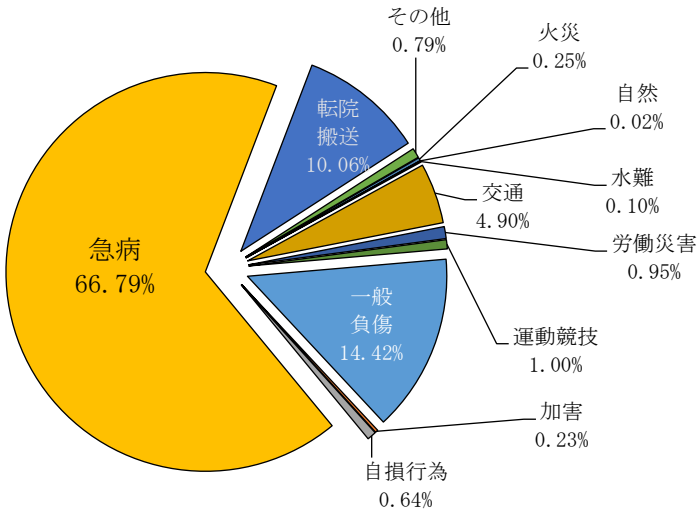
救　急　・　救　助

Ⅱ　救急概況

1　　救急出動件数、救急搬送状況

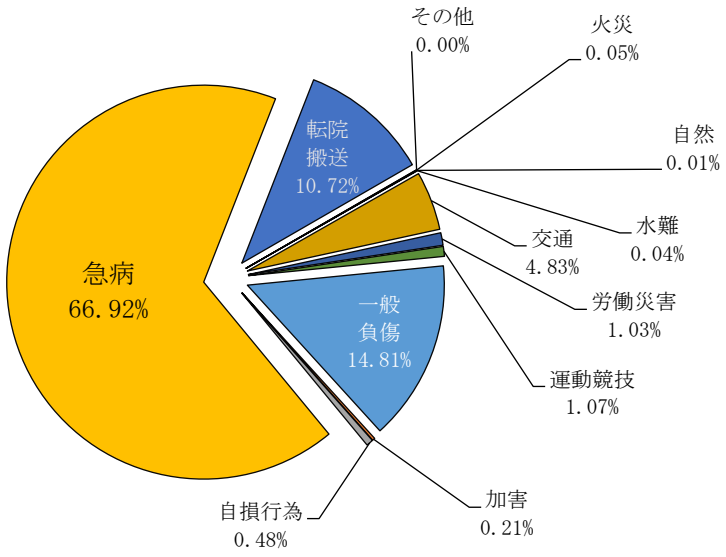
令和６年中の救急出動件数は、前年に比べて 44 件増の 13,234 件、搬送人員は 26 人減の 12,339 人でした。

図Ⅱ-1　事故種別救急出動状況



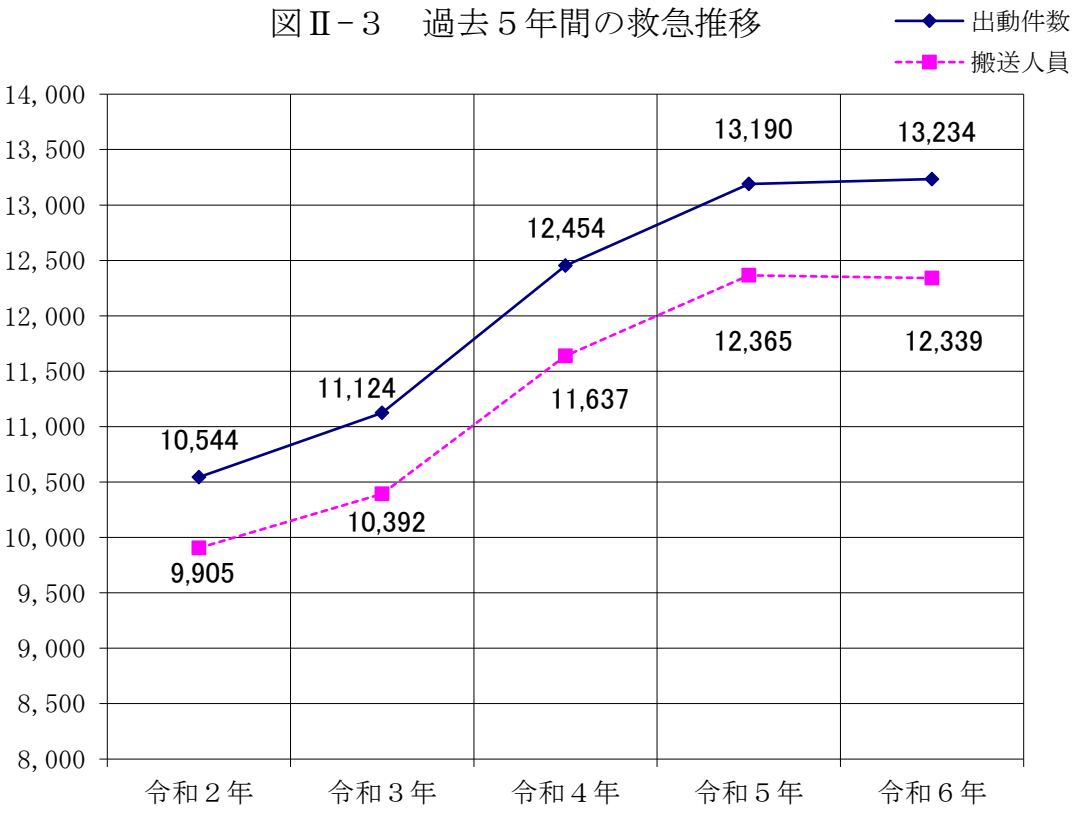
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	33	2	13	648	128	98	1,909	30	98	8,839	1,331	105	13,234

図Ⅱ-２　事故種別救急搬送状況



事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	6	1	5	596	127	100	1,828	26	70	8,257	1,323	0	12,339

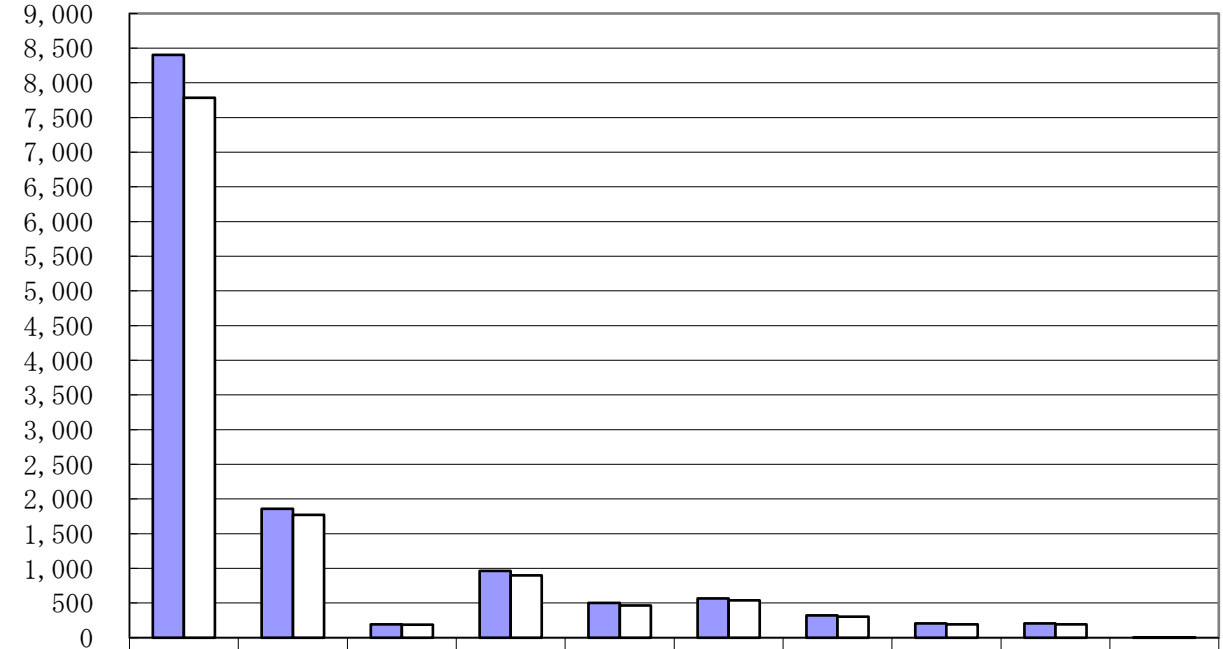
図Ⅱ－３　過去５年間の救急推移



２　市町村別救急活動状況

令和６年中は前年に比べて米子市、境港市、日吉津村、大山町で救急件数が増加し、その他は減少若しくは増減なしの状況となりました。

別図Ⅱ－４　市町村別救急活動状況

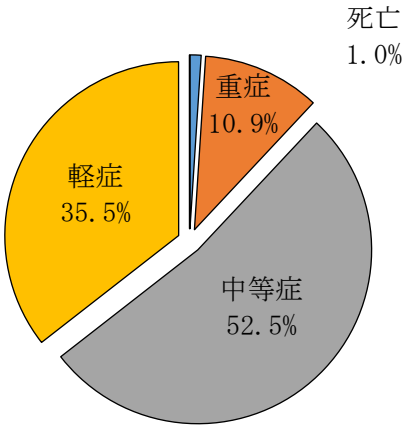


	米子市	境港市	日吉津村	大山町	南部町	伯耆町	日南町	日野町	江府町	圏域外
出動件数	8,404	1,859	194	964	502	568	324	208	208	3
搬送人員	7,784	1,772	186	899	465	539	303	195	195	1

3　傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が 6,476 人（52.5%）で最も多く、次いで軽症が 4,384 人（35.5%）、重症が 1,351 人（10.9%）となっています。

図Ⅱ－5　傷病程度別搬送状況

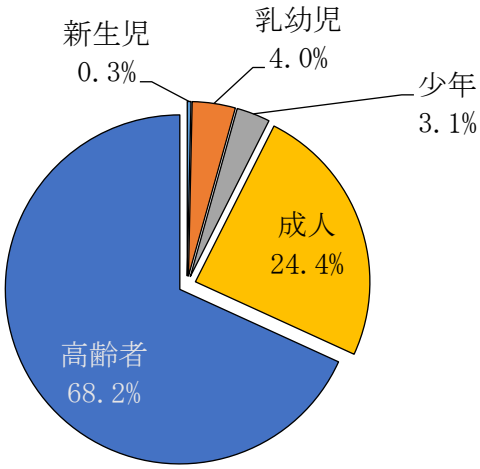


程度	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
搬送人員	127	1,351	6,476	4,384	1	12,339

4　年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65 歳以上の高齢者が 8,413 人（68.2%）と最も多くなっています。

図Ⅱ－6　年齢別搬送状況

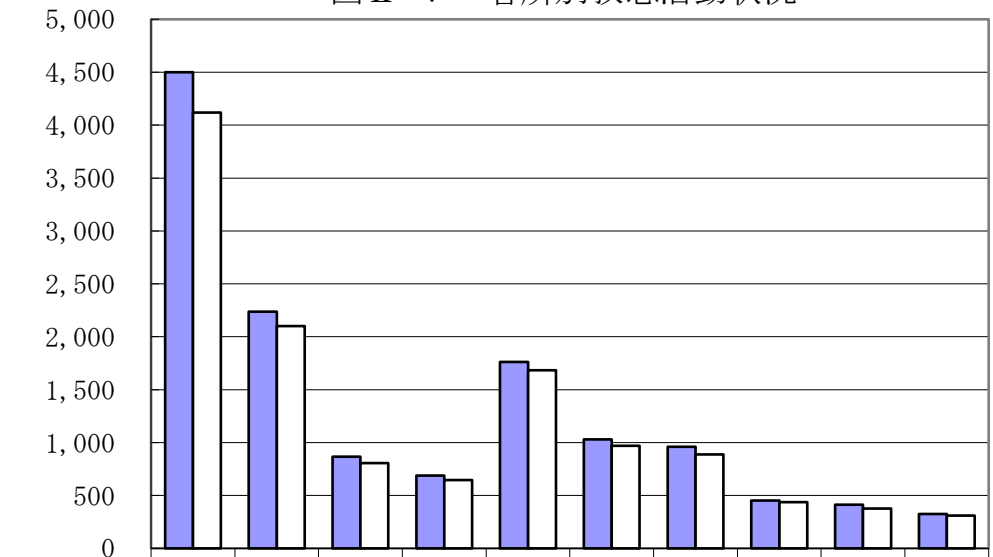


区分	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
搬送人員	42	493	383	3,008	8,413	12,339

5　署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ 4,501 件（34.0%）、4,120 人（33.4%）と最も多くなっています。

図Ⅱ－７　署所別救急活動状況

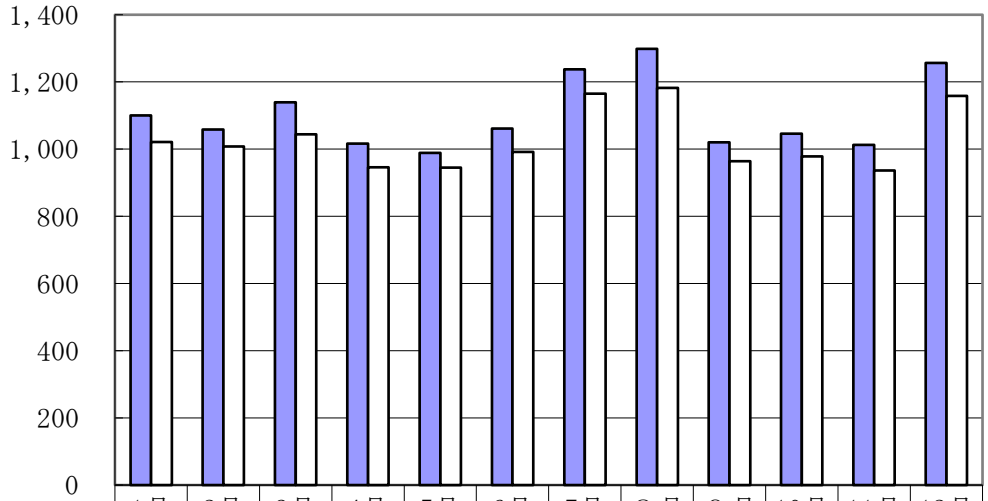


	米子	皆生	南部	伯耆	境港	弓浜	大山	中山	江府	生山
出動件数	4,501	2,238	867	689	1,762	1,029	961	451	412	324
搬送人員	4,120	2,101	805	647	1,682	970	889	438	378	309

6　月別救急活動状況

令和６年中の月別の最多出動件数は、８月が 1,298 件（9.8%）、次いで 12 月の 1,257 件（9.5%）、７月 1,237 件（9.4%）となっています。 搬送人員は、８月が 1,182 人（9.6%）で最も多く、次いで７月の 1,165 人（9.4%）、12 月 1,158 人（9.4%）となっています。

図Ⅱ－８　月別救急活動状況

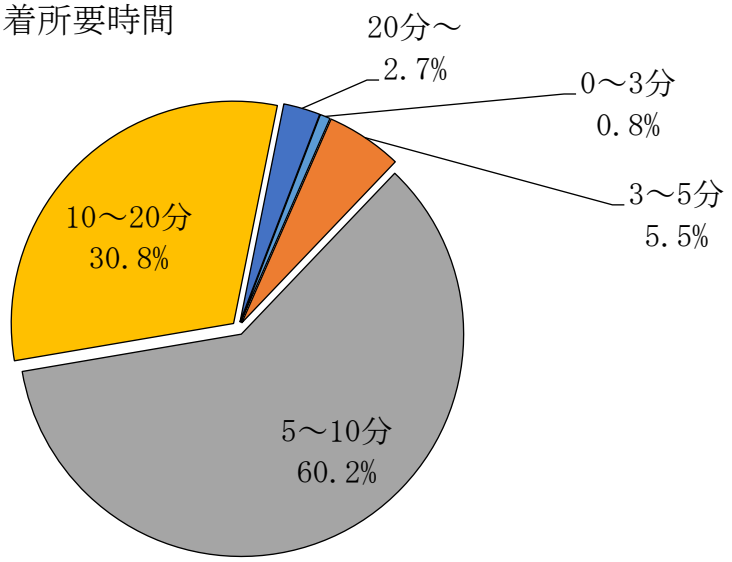


	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	８月	９月	10月	11月	12月
出動件数	1,100	1,058	1,139	1,016	989	1,061	1,237	1,298	1,020	1,046	1,013	1,257
搬送人員	1,021	1,008	1,044	946	945	992	1,165	1,182	964	978	936	1,158

7　現場到着所要時間、収容所要時間

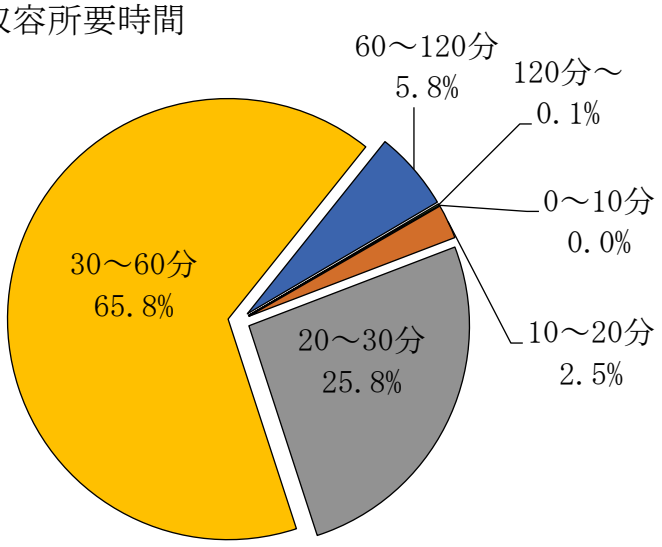
令和６年中の平均現場到着所要時間は９分 36 秒で前年よりも 27 秒減少し、平均収容所要時間は 38 分 18 秒で前年よりも１分 40 秒減少しました。

図Ⅱ－９　現場到着所要時間



現場到着所要時間	0～3 分	3～5 分	5～10 分	10～20 分	20 分～	合計
件数	98	734	7,966	4,082	354	13,234

図Ⅱ－１０　収容所要時間



収容所要時間	0～10分	10～20分	20～30分	30～60分	60～120分	120 分～	合計
件数	0	311	3,183	8,113	717	15	12,339

８　市町村別救急活動の推移

過去５年間の救急件数の推移は、表Ⅱ－1 のとおりです。

表Ⅱ－１　過去５年間の市町村別救急件数

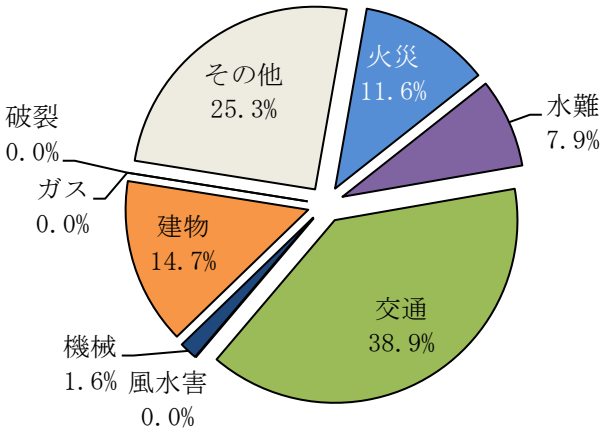
		令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年
米子市	件数	6,749	7,008	7,920	8,380	8,404
	搬送人員	6,292	6,529	7,358	7,816	7,784
境港市	件数	1,342	1,476	1,684	1,839	1,859
	搬送人員	1,284	1,391	1,596	1,732	1,772
日吉津村	件数	152	152	213	163	194
	搬送人員	143	147	203	156	186
大山町	件数	802	822	894	913	964
	搬送人員	749	764	838	863	899
南部町	件数	388	450	480	528	502
	搬送人員	368	414	450	500	465
伯耆町	件数	419	500	526	571	568
	搬送人員	401	463	499	544	539
日南町	件数	317	325	320	344	324
	搬送人員	305	307	301	325	303
日野町	件数	171	160	219	208	208
	搬送人員	164	158	208	194	195
江府町	件数	191	218	186	238	208
	搬送人員	187	206	175	232	195
圏域外	件数	13	13	12	6	3
	搬送人員	12	13	9	3	1
合計	件数	10,544	11,124	12,454	13,190	13,234
	搬送人員	9,905	10,392	11,637	12,365	12,339

Ⅲ　救助概況

1　事故種別救助出動状況

令和６年中の救助出動件数は 190 件で、交通事故が 74 件（38.9%）で最も多く、次いでその他の事故が 48 件 （25.3%）、建物等による事故 28 件（14.7%）の順となっています。

図Ⅲ－1　事故種別救助出動状況

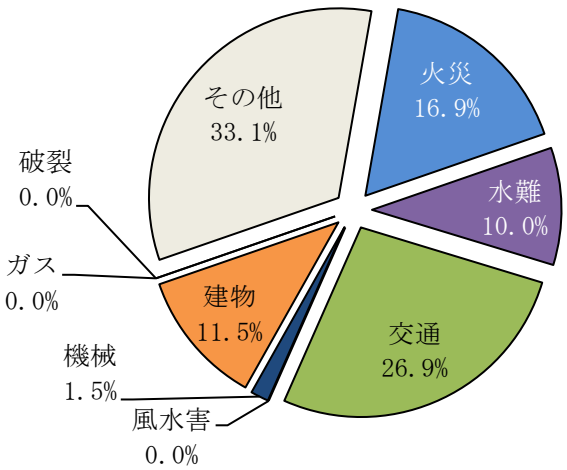


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出動件数	22	15	74	0	3	28	0	0	48	190

2　事故種別救助活動状況

救助活動件数は 130 件で、その他の事故が 43 件（33.1%）で最も多く、次いで交通事故が 35 件（26.9%）、火災が 22 件（16.9%）の順となっています。

図Ⅲ－2　事故種別救助活動状況

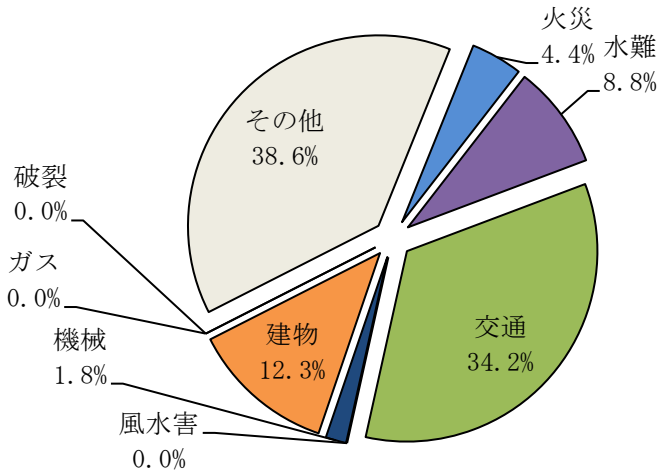


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	22	13	35	0	2	15	0	0	43	130

3　事故種別救助人員状況

令和６年中に救助活動により救助された人員は 114 人で、その他の事故が 44 人（38.6%）と最も多く、次いで交通事故が 39 人（34.2%）、建物等による事故が 14 人（12.3%）、水難事故が 10 人（8.8%）の順となっています。

図Ⅲ－３　事故種別救助人員状況

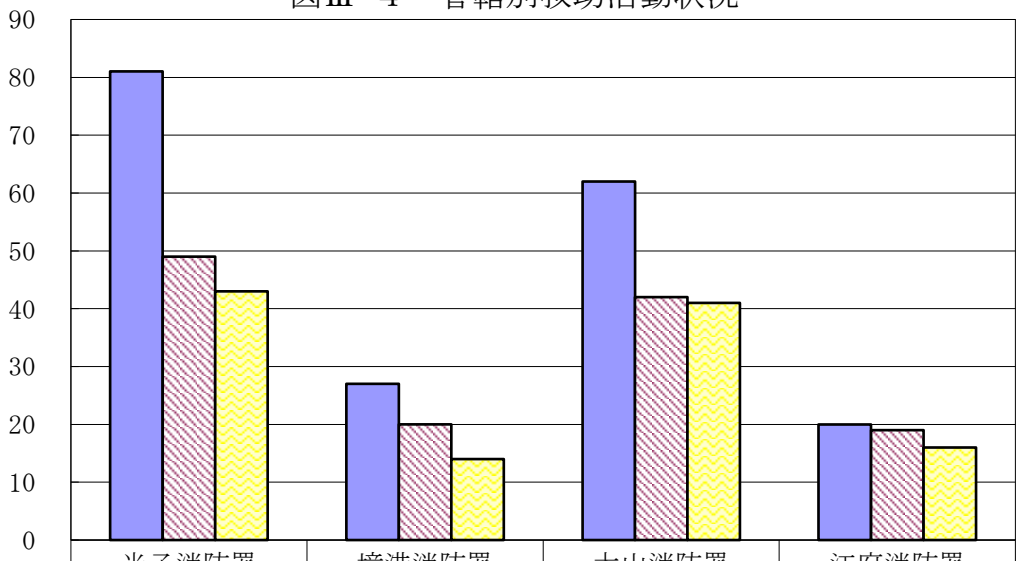


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	5	10	39	0	2	14	0	0	44	114

4　管轄別救助活動状況

令和６年中の管轄別出動件数は、米子消防署が 81 件（42.6%）と最も多く、次いで大山消防署が 62 件（32.6%）、境港消防署が 27 件（14.2%）、江府消防署 20 件（10.5%）の順となっています。

図Ⅲ－４　管轄別救助活動状況

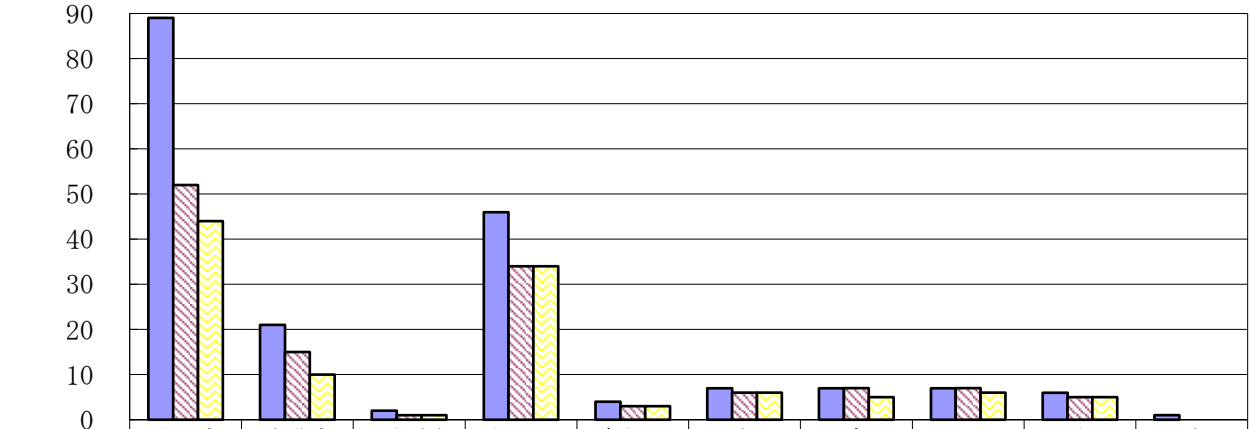


	米子消防署	境港消防署	大山消防署	江府消防署
出動件数	81	27	62	20
活動件数	49	20	42	19
救助人員	43	14	41	16

5　市町村別救助活動状況

令和６年中の市町村別出動件数は、米子市が 89 件（46.8%）と最も多く、次いで大山町が 46 件（24.2%）、境港市が 21 件（11.1%）の順となっています。

図Ⅲ－５　市町村別救助活動状況

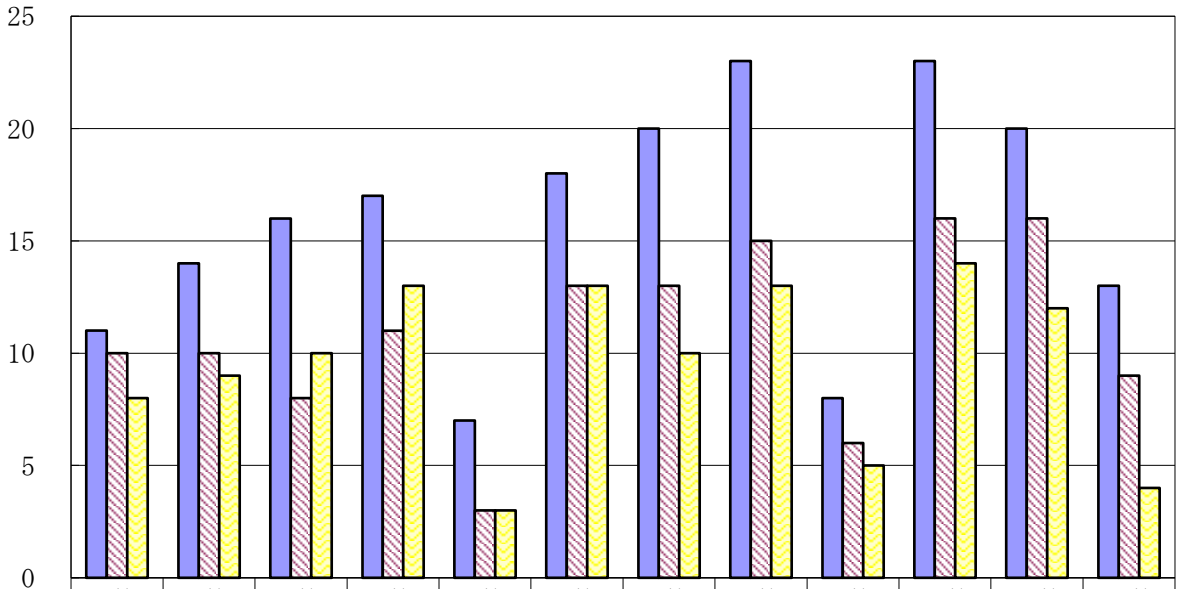


	米子市	境港市	日吉津村	大山町	南部町	伯耆町	日南町	日野町	江府町	圏域外
出動件数	89	21	2	46	4	7	7	7	6	1
活動件数	52	15	1	34	3	6	7	7	5	0
救助人員	44	10	1	34	3	6	5	6	5	0

6　月別救助活動状況

月別救助出動件数は、８月と 10 月が 23 件（12.1%）と最も多く、次いで７月と 11 月が 20 件（10.5%）、６月が 18 件（9.5%）の順となっています。

図Ⅲ－６　月別救助活動状況



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出動件数	11	14	16	17	7	18	20	23	8	23	20	13
活動件数	10	10	8	11	3	13	13	15	6	16	16	9
救助人員	8	9	10	13	3	13	10	13	5	14	12	4

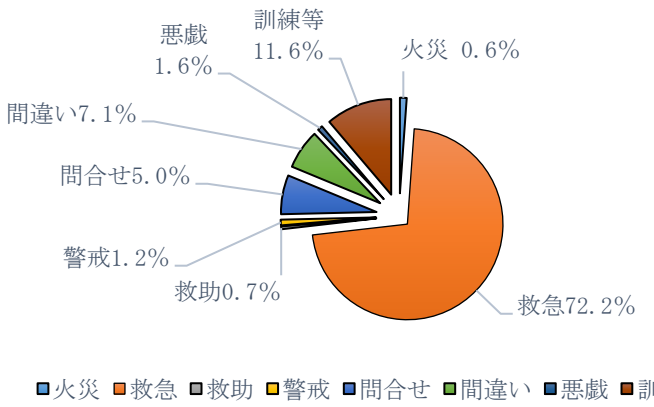
１１９番着信概況

Ⅳ 119番通報着信概況

1　119番通報の着信数の内訳

令和６年中の総着信数は17,564件で、前年に比べ1,194件の増加となりました。着信種別の内訳は、救急が12,698件で最も多く、次いで、警戒等204件、救助116件、火災103件となっており、これらの緊急を要する着信は、総着信数の74.7%を占めています。また、訓練等を除く「問合せ、間違い及び悪戯（いたずら）」といった緊急を要さない着信は、2,404件で、総着信数の13.7%となっています。

表Ⅳ－１　着信数内訳【%】



【件】

緊急着信 ［13,121］				非緊急着信 ［2,404］			訓練等	総着信数
火　災	救　急	救　助	警戒等	問合せ	間違い	悪　戯		
103	12,698	116	204	873	1,252	279	2,039	**17,564**

2　月別119番通報の着信数の内訳

令和６年中の月平均着信数は、約1,464件で、１日あたり約48件の119番通報を着信しています。

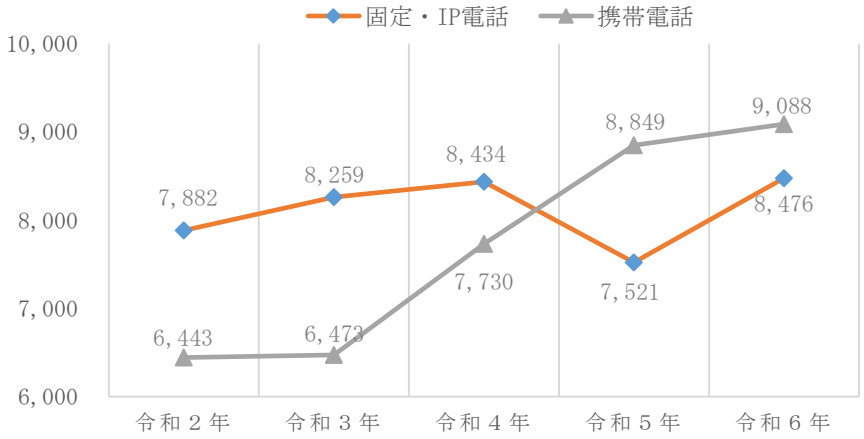
表Ⅳ－２　月別119番通報着信状況【件】

月　別	火　災	救　急	救　助	警戒等	問合せ	間違い	悪　戯	訓練等	合　計
１　月	3	1,074	6	26	69	91	4	110	1,383
２　月	15	1,008	6	16	67	101	8	133	1,354
３　月	1	1,074	8	14	65	96	30	256	1,544
４　月	7	971	15	8	53	90	45	141	1,330
５　月	11	948	5	12	65	99	14	167	1,321
６　月	4	1,014	16	14	63	106	15	213	1,445
７　月	4	1,176	13	34	70	123	12	132	1,564
８　月	18	1,233	16	21	117	143	20	94	1,662
９　月	4	1,006	5	21	74	121	90	171	1,492
10月	11	996	14	10	69	93	5	206	1,404
11月	15	979	8	15	81	110	17	230	1,455
12月	10	1,219	4	13	80	79	19	186	1,610
月平均	9	1,058	10	17	73	104	23	170	**1,464**
合　計	103	12,698	116	204	873	1,252	279	2,039	**17,564**

3　電話種別による 119 番通報の着信状況

令和６年中の「電話種別による 119 番通報着信数の推移」をみると、固定・ＩＰ電話の着信数は、8,476 件で、前年と比べ 955 件増加し、過去５年間で最も多く着信しています。また、携帯電話による着信数は、9,088 件で令和２年から右肩上がりに増加しています。なお、携帯電話による着信数が令和３年から急増していることに比べ、固定・ＩＰ電話の着信数は、ほぼ横ばいとなっています。

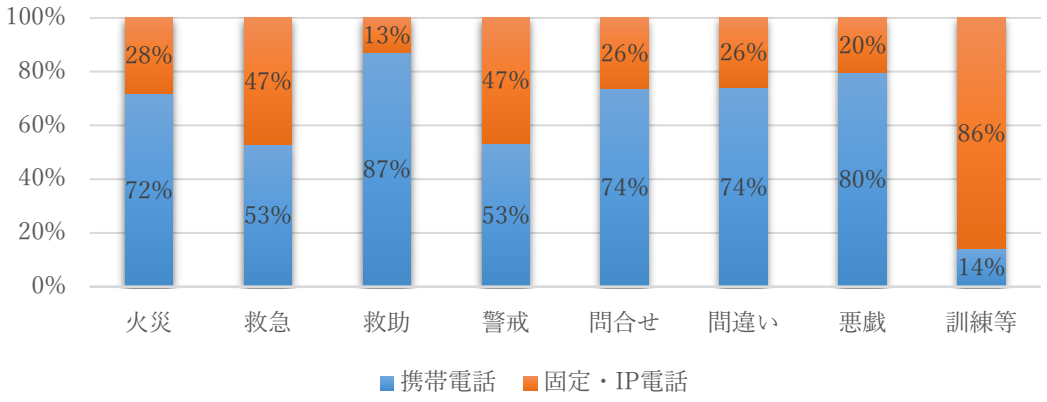
表Ⅳ－３　　電話種別による 119 番通報着信数の推移　【件】



項　目	令和２年	令和３年	令和４年	令和５年	**令和６年**
固定・IP 電話	7,882	8,259	8,434	7,521	**8,476**
携帯電話	6,443	6,473	7,730	8,849	**9,088**
合　計　【件】	14,325	14,732	16,164	16,370	**17,564**

令和６年中の「電話種別による着信状況」をみると、訓練等を除いた電話種別は、携帯電話による着信が 50％を超える状況となっていますが、訓練等の電話種別は、携帯電話による着信が 14％と極端に低くなっています。

表Ⅳ－４　電話種別による着信状況　【％】



【件】

項　目	火　災	救　急	救　助	警戒等	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合　計
固定･IP 電話	29	5,976	15	95	230	322	57	1,752	8,476
携帯電話	74	6,722	101	109	643	930	222	287	9,088
合　計	103	12,698	116	204	873	1,252	279	2039	17,564

4　119 番通報の転送状況の内訳

令和６年中に西部消防局で着信した 119 番通報を、緊急出動を必要とする管轄の消防機関に転送発信した件数は 108 件となりました。また、西部消防局が管轄している地域で発生した事案で、他の消防機関から転送着信した件数は、84 件となっています。

表Ⅳ－５　携帯電話からの着信状況　【件】

西部消防局管轄内で発生した事案の着信数			他の消防機関へ転送発信数
管轄内事案で携帯電話による着信数	他の消防機関から転送着信数	携帯電話着信数	
9,004	84	9,088	108

表Ⅳ－６　携帯電話の消防機関別転送状況【件】

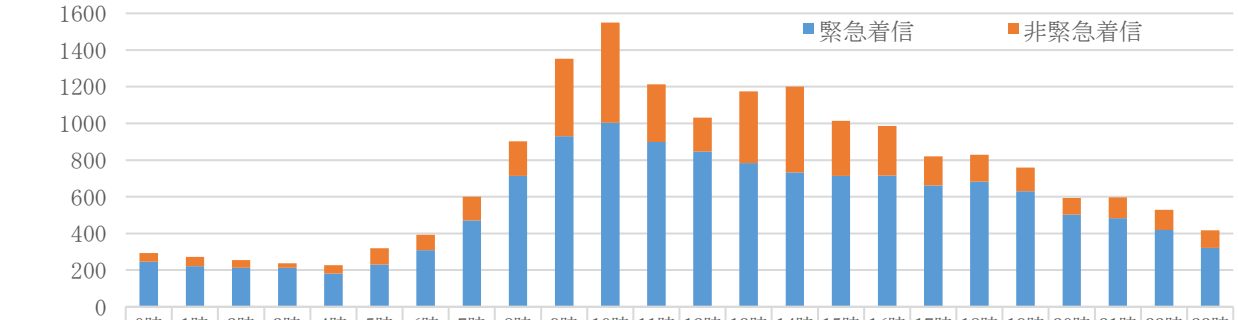
他の消防機関から転送着信した数					他の消防機関に転送発信した数				
	火災	救急	その他	合計		火災	救急	その他	合計
松　江		22	1	23	松　江	3	35	3	41
安　来	2	40	2	44	安　来		22	2	24
雲　南					雲　南	1			1
東　部		3		3	東　部	3	6		9
中　部		3	2	5	中　部	1	9		10
（その他）遠隔地通報		9		9	（その他）遠隔地通報	1	20	2	23
合　計	2	77	5	84	合　計	9	92	7	108

（※ 遠隔地通報とは、隣接しない他の消防機関から転送着信または転送発信することをいう。）

5　時間帯別 119 番通報の着信状況

令和６年中の「時間帯別 119 番通報着信状況」をみると、前年と同様に「緊急着信」、「非緊急着信」ともに最も多かった時間帯は、10 時台となりました。反対に最も着信が少ない時間帯は、４時台となりました。

表Ⅳ－７　時間帯別１１９番通報着信状況　【件】



	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時
非緊急着信	47	52	41	26	44	88	84	129	189	421	547	314	186	391	468	300	271	158	146	130	92	113	110	96
緊急着信	246	221	213	212	182	231	308	471	713	931	1003	899	846	783	733	714	715	662	683	630	502	484	418	321

時間帯

消 防 団 ・ 水 利

消防団の人員と装備

令和7年4月1日現在

人員 / 市町村別		人員									消防車両等			
		定員	実員	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	自動車消防ポンプ	ポンプ積載車小型動力	小型ポンプ動力	手引ポンプ動力
合計		1,405	1,204	9	20	72	72	69	196	762	51	22	24	0
米子市		544	481	1	4	28	28	51	109	260	15	8	9	0
境港市		116	88	1	2	6	6	8	13	52	6	0	0	0
西伯郡	日吉津村	35	29	1	2	1	1	0	3	21	2	0	0	0
	大山町	171	145	1	3	10	10	10	21	90	9	2	0	0
	南部町	148	119	1	2	7	7	0	15	87	5	3	0	0
	伯耆町	163	138	1	2	7	7	0	14	107	4	4	4	0
日野郡	日南町	104	98	1	2	7	7	0	7	74	5	2	5	0
	日野町	64	58	1	2	3	3	0	5	44	3	2	5	0
	江府町	60	48	1	1	3	3	0	9	27	2	1	1	2

水　　利　　状　　況

令和7年4月1日現在

区分 / 市町村別		水利				
		基準数	現有数			
			公設消火栓（150mm以上）	公設水槽（40t以上）	その他	計
合計		3,782	1,425	860	2,879	5,164
米子市		1,354	1,078	158	502	1,738
境港市		676	289	56	56	401
西伯郡	日吉津村	55	58	0	21	79
	大山町	389	0	235	489	724
	南部町	157	0	144	254	398
	伯耆町	57	0	117	432	549
日野郡	日南町	508	0	52	732	784
	日野町	218	0	35	232	267
	江府町	368	0	63	161	224

関　係　団　体

［米子地区防火安全協会］

令和６年度　事業報告書

１．研修会の部

(1) 新入社員防災研修会（米子地区防火安全協会共催）

令和６年６月４日（火）・６月５日（水）西部消防局において開催　　１１１名参加

(2) 危険物事故防止講習会（高知）

令和６年１０月１０日（木）　　事務局より１名参加

(3) 消火競技会（境港市消防保安協会主催）

令和６年１０月１７日（木）境港消防署において開催　　３事業所４チーム参加

(4) 実務研修会

令和７年３月４日（火）

鳥取県西部広域行政管理組合消防局において開催　　５５名参加

２．講習会の部

(1) 第１回危険物取扱者試験準備講習会

令和６年５月２３日（木）～２４日（金）

【乙種第４類】　　３５名参加（３３名）

合 格 率　62.1%（県平均　38.2%）

【丙　　種】　　２名参加（２名）

合 格 率　100%（県平均　80.0%）

(2) 第２回危険物取扱者試験準備講習会

令和６年９月１９日（木）～２０日（金）

【乙種第４類】　　３５名参加（３２名）

合 格 率　32.3%（県平均　35.1%）

【丙　　種】　　３名参加（３名）

合 格 率　66.7%（県平均　66.7%）

(3) 第３回危険物取扱者試験準備講習会

令和７年２月１３日（木）～１４日（金）

【乙種第４類】　　３３名参加（３２名）

合 格 率　45.2%（県平均　32.6%）

【丙　　種】　　１名参加
（１名）

合 格 率　0.0%
（県平均　62.5%）

※（　）内は、米子地区防火安全協会からの参加者数

３．斡旋事業の部

(1) 図書の発行　　火災予防関係例規集

(2) 標識・掲示板の斡旋

(3) 防火管理者講習会等の図書斡旋

【甲種防火管理　新規講習】

第１回	令和６年　５月　８日（水）～　９日（木）	８３冊
第２回	令和６年　９月１０日（火）～１１日（水）	８２冊
第３回	令和６年１１月１９日（火）～２０日（水）	４６冊
第４回	令和７年　３月１３日（木）～１４日（金）	４２冊

【乙種防火管理　新規講習】

第１回	令和７年　３月１３日（木）	４冊

【防 災 管 理　新規講習】

令和６年１０月１０日（木）	１３冊

【甲種防火管理　再 講 習】

令和６年１２月１０日（火）	２７冊

【防火・防災管理　再講習】

令和６年　６月１８日（火）	５冊

４．会報発刊の部

会報（第２６号）	８月　発刊
会報（第２７号）	３月　発刊

５．防火協力の部

(1) 住宅用火災警報器の普及活動協力

(2) 消防行事に協賛

(3) 図書の寄贈

(4) 防火ＤＶＤ購入の貸し出し

(5) 表彰記念品の購入

(6) その他　「YONAGO デジタル健康・防災フェスタ 2024」の後援

６．会議の部

定期総会、役員会　　令和６年６月２４日（月）

新年役員会　　令和７年１月３０日（木）

７．危険物保安協会関係の部（国・県）

(1) 令和６年度全国危険物安全協会　危険物安全大会

令和６年６月３日（月）　ニッショーホールにて開催

【消防庁長官表彰・危険物保安功労者表彰】

坂口　元昭　（山陰石油　株式会社）

(2) 鳥取県危険物保安協会連合会理事会及び安全大会

令和６年６月７日（金）　ホテルセントパレス倉吉において開催

【県知事・危険物優良取扱者表彰】

森　義信（松本油店株式会社）

【県知事・危険物優良取扱者表彰】

河本　由利（永瀬産業株式会社）

【県危連・危険物保安功労者表彰】

石部　裕一（社会医療法人　同愛会）

【県危連・危険物優良事業所表彰】

米子ワシントンホテルプラザ

８．表彰の部

会長表彰

【功労者表彰】

城内　正行（寿製菓株式会社）

【危険物優良事業所表彰】

フジ化成工業株式会社

【優良事業所表彰】

学校法人　あけぼの幼稚園

【危険物優良取扱者】

田中　千佳江（多里石油有限会社）

戸﨑　克彦（ＴＶＣ株式会社）

９．その他

鳥取県危険物取扱者保安講習

令和６年８月２７日（火）・２８日（水）

米子コンベンションセンターにおいて開催　　事務担当者２名派遣

［境港市消防保安協会］

令和６年度　事業報告

１　会報の発行

会報第６６号発行

２　研修用ビデオ貸し出し

会員事業所へ防火・防災ビデオの貸し出し

３　住宅用火災警報器維持対策広報

経年劣化した住宅用火災警報器の交換の促進

４　消火競技会の開催

１０月１７日（木）：第４５回事業所対抗消火競技会

５　講習会の開催　危険物取扱者試験準備講習会

５月、９月、２月に米子地区防火安全協会と合同実施

６　会議関係

（１）境港市消防保安協会関係

役員会　　４月２６日（金）

定期総会　　５月２３日（木）

（２）鳥取県危険物保安協会連合会関係

事務局会議　　５月１０日（金）

理事会及び危険物安全大会　６月　７日（金）（倉吉市：ホテルセントパレス倉吉）

７　表彰関係

（１）境港市消防保安協会　会長表彰

功労者表彰：足立　祥　様（足立燃料有限会社）

危険物優良取扱者表彰：森脇　一雄　様（海上石油有限会社）

優良事業所表彰：有限会社渡辺商店

（２）鳥取県危険物保安協会連合会　会長表彰

危険物優良事業所表彰：大海株式会社

（３）鳥取県知事表彰

危険物優良事業所表彰：三光株式会社

８　その他

（１）境港市消防団ポンプ操法大会（６月２日（日））

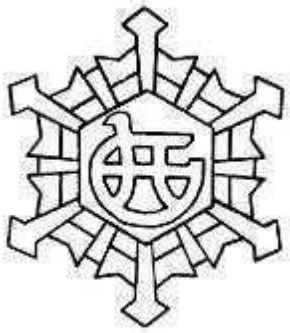
（２）各種講習会・試験実施案内

令和6年版　消防年報

令和7年7月 発行

編集･発行　鳥取県西部広域行政管理組合消防局

〒683－0853鳥取県米子市両三柳5452番地

TEL（０８５９）３５－１９５１

FAX（０８５９）３５－１９６１